I·O DATA

USB対応　外付型MOドライブ

MOC-U640

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

92343-02

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ･オー･データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses airsing from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
11) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
13) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

●I-O DATAは、株式会社アイ･オー･データ機器の登録商標です。
●Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
●Apple,Macintosh,Power Macintosh,PowerBook,Mac,Mac OSロゴおよびその標章は、米国Apple Computer, Inc.の登録商標です。
●iMac,iBookは、米国Apple Computer,Inc.の商標です。
●RINGOWINは富士通株式会社の登録商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

!! 安全で快適にお使いいただくために

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本冊子では、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を説明しています。

絵表示の意味をよく理解した上でお読みください。

This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses airsing from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

はじめに、必ずこの小冊子と取扱説明書をお読みください。
本冊子はいつでも見られる場所に大切に保管してください。

■警告及び注意事項

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠警告

厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

分解禁止

本製品を分解したり、改造しないでください。
火災･感電･動作不良の原因となります。
修理は弊社サポートセンターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。

電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。
電源がある場合は、電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災･感電の原因となります。

発火注意

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は､必ず添付品又は指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると､パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因となることがあります。
- ボード製品の場合は、指定されたスロットに水平に入れ、奥のコネクタまできちんと差し込んでください｡正しく装着されていないと火災及び故障の原因になります。

電源プラグを抜く

本製品の取り付け、取り外し、移動の際は、必ずパソコン本体・周辺機器及び本製品の電源を切り、ＡＣコンセントを外してから行ってください。
電源コードをＡＣコンセントに接続したまま行うと感電及び故障の原因になることがあります。

厳守

以下のことにご注意ください。

- 必ず添付のＡＣアダプタを使用してください。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- 電源コードをＡＣコンセントから抜く場合は､必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線又は短絡して、火災及び感電の原因となることがあります。
- 電源コードのプラグは、濡れた手でＡＣコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因になります。
- 電源コードがＡＣコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因になります。

⚠注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

本製品は以下のような場所で使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

- 振動や衝撃が加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 温度差の激しい場所
- 熱を発生するものの近く（ストーブ、ヒータなど）
- 強い磁力電波が発生するものの近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカー、ラジオ、無線機など）
- 水気の多い場所（台所や浴室など）
- 傾いた場所
- 製品に通風孔がある場合は、その通風孔がふさがる場所

本製品を保管する場合はご購入時の箱に入れてください。
また、以下のような場所で保管しないでください。

故障の原因になることがあります。

- 振動や衝撃が加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 温度差の激しい場所
- 熱を発生するものの近く（ストーブ、ヒータなど）
- 強い磁力電波が発生するものの近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカー、ラジオ、無線機など）
- 水気の多い場所（台所や浴室など）

本製品は精密部品です。以下にご注意ください。

- 落としたり、衝撃を加えない（特に電源がＯＮになっているときは絶対に振動や衝撃を加えない）
- 製品の上に水などの液体や、クリップなど小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- そばで飲食･喫煙などをしない

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

⚠注意

本製品（ソフトウェアも含む）は、日本国内仕様です。

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。

本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用又はこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。

これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

取扱説明書に書かれている注意事項も必ずお守りください。

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

● 呼び方

呼び方	意　味
Macintosh	iMac,iMac DV,iBook,PowerMacintosh G3/G4/G4 Cube, PowerBook G3/G4シリーズの総称
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System, Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating Systemの総称
Windows Me/98	Windows MeおよびWindows 98の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows	Windows Me/98, Windows 2000の総称

もくじ

安全で快適にお使いいただくために…… i
お読みになる前に…… v
もくじ…… vi

はじめに……1

本製品を使えば …… 2
箱の中には …… 4
動作環境 …… 6
ユーザー登録しよう …… 7
取り扱いおよび使用上の注意 …… 8
各部の名称・機能 …… 12
添付品を取り付けよう …… 13

Mac OSでご使用の場合……15

ステップ1　ドライバソフトのインストール …… 16
ステップ2　取り付けよう …… 17
ステップ3　お使いの前に …… 21
ステップ4　基本操作について …… 23
補足1　サポートソフトの削除 …… 27

Windows Me/98でご使用の場合……29

ステップ1　インストール前の確認 …… 30
ステップ2　インストール …… 31
ステップ3　基本操作について …… 41
補足1　サポートソフトの削除 …… 47

Windows 2000でご使用の場合……５３

ステップ1　インストール前の確認 …… ５４
ステップ2　インストール …… ５５
ステップ3　基本操作について …… ６５
ステップ4　ユーティリティを使おう …… ６８
補足1　サポートソフトの削除 …… ７２

付 録……７７

困った時には …… ７８
Mac OSとWindows Me/98で
共通のMOディスクを使おう …… ９６
RINGOWIN LEについて …… ９８
用語解説 …… ９９
ハードウェア仕様 …… １００

サポートセンターへのお問い合わせ …… １０１
サポートソフトのバージョンアップ …… １０２
修理について …… １０３

はじめに

本製品を使えば — 本製品の使用例を紹介します。(P2)

▼

箱の中には — 箱の中のものを確認します。(P4)

▼

動作環境 — 本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。(P6)

▼

ユーザー登録しよう — ここの説明を読んで、ユーザー登録をしてください。(P7)

▼

取り扱いおよび使用上の注意 — 本製品を使うにあたって、注意しなければならないことを説明します。(P8)

▼

各部の名称・機能 — 本製品のスイッチなどの名前と機能を説明します。(P12)

▼

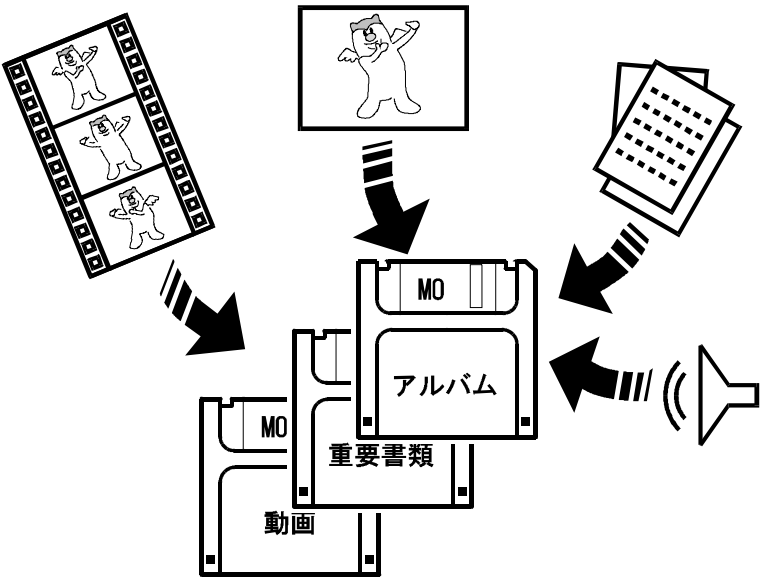
添付品を取り付けよう — 添付品を本製品に取り付ける方法について説明します。(P13)

本製品を使えば

本製品は、以下のようにお使いいただくことができます。

◆ 大事なデータの保存・バックアップに

仕事のデータ、デジタルカメラで撮った画像データ、キャプチャした動画などをMOディスクに入れておけば、ハードディスクの容量が少なくなるということがなくなり、誤ってパソコンのデータが消えてしまったときも安心です。
また、ラベルを貼っておけばデータの整理も簡単です。



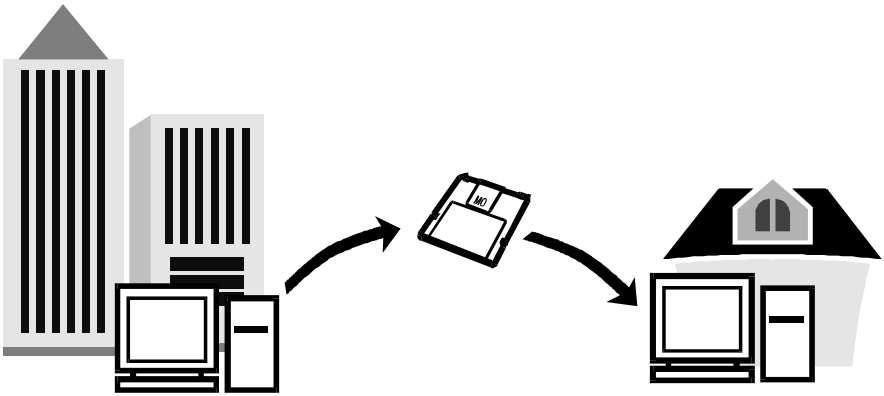
◆ 大きなデータの持ち運びに

ワープロ等で作った書類データや、デジタルカメラの画像データ等をほかの場所に持っていきたいとき、MOディスクに入れて持ち運べばOK。

フロッピーディスクよりはるかに容量が大きいので安心です。

また、本製品には「RINGOWIN LE」※が添付されています。

※「RINGOWIN LE」については【RINGOWIN LEについて】(P98)を参照してください。



箱の中には

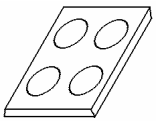
箱の中には以下のものが入っています。
☐ にチェックをつけながら、ご確認ください。
万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

·箱·梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。
·イラストは若干異なる場合があります。

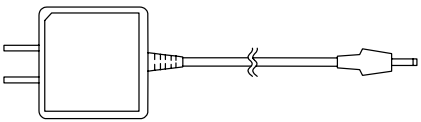
☐ MOドライブ(１個)
［MOC-U640］

☑ MOC-U640取扱説明書
(１冊)

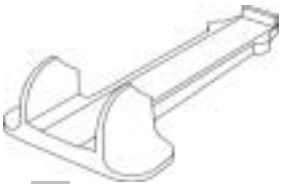
☐ 強制イジェクト・ピン(１本)



☐ ラバーフット（４個）
［横置き用］



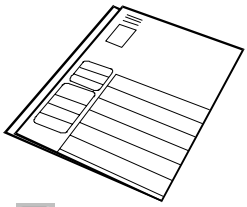
☐ ACアダプタ(１個)



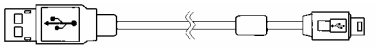
☐ スタンド(１個)
［縦置き用］

MOCシリーズ
サポートソフト CD-ROM(１枚)
[ハイブリッド(Windows/Mac OS)CD-ROM]
・Windows 2000用
ユーティリティソフト
・MOシリーズサポートソフト
・RINGOWIN LE
・USBデバイスドライバ

ハードウェア保証書(１枚)



ユーザー登録カード
(１枚：本書巻末)



USBケーブル(１本)
[USB Aコネクタ⇔
USB miniBコネクタ：１m]

ハードウェアシリアルNo.シール
(１枚)

動作環境

対応機種および対応ＯＳ

USBポートとCD-ROMドライブ（インストール時）を搭載した以下の機種が対応機種です。

対応機種	対応OS（日本語版のみ）
Apple iMac･iMac DV iBook PowerMacintosh G4 PowerMacintosh G4 Cube PowerMacintosh G3 (Blue & White) PowerBook G3/G4 (Bronze keyboard)	Mac OS 8.6/9/9.0.4/9.1
NEC PC98-NXシリーズ※1 DOS/Vマシン(Pentium 75MHz以上)※1,2,3,4	Windows 2000/Me/98 (Second Edition含む)

※1 弊社製のPCIバス用USBインターフェイスボード「USB-PCI」装着機種でもご使用いただけます。

※2 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っています。

※3 次の機種を除く。
TOSHIBA製：DynaBook SS PORTEGE 6000
DynaBook Satellite 2520シリーズ
SOTEC製　：e-note M260TX2,M260TX3

※4 COMPAQ製PRESARIO 3566/3567/3576/3581/3590をお使いの場合、パソコンのBIOSアップデートが必要です。詳しくは、コンパックプレサリオ サポートセンターにお問い合わせください。

対応ＭＯディスク

128M,230M※5,540M※5,640Mバイト※5

※5 オーバーライト対応MOディスクを含む

ユーザー登録しよう

ここではユーザー登録について説明します。

1 「ハードウェアシリアル№シール」を所定の位置にはります。

添付のハードウェアシリアル№シールを、ハードウェア保証書と本書巻末のユーザー登録カード、にはってください。

2 ユーザー登録をします。

ユーザー登録にはオンライン登録と、ハガキ登録の２通りがあります。

●オンライン登録(http://www.iodata.co.jp/regist)

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録してください。

I-O DATA ホームページにユーザー登録フォームが用意されています。

画面の表示にしたがって必要事項を記入してください。

ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードにユーザー登録番号を記入し、大切に保管してください。

●ハガキ登録

必要な事項を記入のうえ、弊社までユーザー登録カードをご返送ください。

必要事項のご記入もれや必要なシールのはり忘れがあった場合は、ユーザー登録できません。必ずご確認ください。

取り扱いおよび使用上の注意

本書内の『安全で快適にお使いいただくために』も併せてご覧ください。また、「MOCシリーズサポートソフト」 CD-ROM内の「README.TXT」（Windowsの場合）もしくは「はじめにお読みください」（Mac OSの場合）を必ずご覧ください。

● 使用する際の注意

・640Mバイトの MO ディスクについて

圧縮ドライブとしては使用できません。

・パソコンの電源を切る場合

パソコン本体の電源を切る場合は、以下のようにしてください。

① 本製品のアクセスランプが点灯･点滅していないことを確認し、MOディスクを取り出します。

② パソコンの電源を切ります。

③ 本製品の電源を切ります。

・「ディスクコピー」は MO ディスクに対応していません。

絶対にMOディスクに対して実行しないでください。

・MOディスクの取り出し時

1)パソコンが起動しているときに、本製品をUSBコネクタから取り外す際は、必ずMOディスクを取り出してから行ってください。

2)MOディスクへアクセス中は絶対に「取り出し」ボタンを押さないでください。記録されたファイルのリードライトができなくなったり、MOディスクが傷つき、使用不可能になる場合があります。

・定期的にバックアップしてください。

記録されたデータやプログラムファイルは、誤動作や故障等によってファイルが破壊された場合、復旧することができません。
大切なファイルはあらかじめバックアップする様にしてください。

・MOディスクの挿入時

MOディスクの金属シャッター部分を持たないでください。静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となることがあります。

・本製品にアクセスする際は、なるべく他のUSB機器を動作させないでください。

本製品にアクセスする際に、他のUSB機器を動作させると速度が遅くなったりシステムが停止する場合があります。

・パソコンをスタンバイモードにする際は

必ず本製品を取り外した後で、スタンバイモードにしてください。

・スタンバイから復帰すると本製品が認識されていない場合は

本製品を抜き、再び接続してください。

・USBハブに本製品を接続すると正常に動作しなくなる場合は

USBハブではなく、パソコンのUSBポートに接続してください。

●取り扱い上の注意

- **本製品の取り扱いについて**

・濡れた手などで本製品を取り扱わないでください。

・本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、本体内部が結露することがあります。そのまま使用すると誤動作や故障の原因となりますので、時間をおき、結露がなくなってから使用してください。

・本体内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。

・本製品は書き込み時、かなり高温になります。そのため、長時間にわたってMOディスクのフォーマットや書き込み作業を行うと、ドライブの安全装置が働き、処理が中断されてしまう場合があります。このような場合は、一旦システムを終了してパソコン本体の電源を切り、ドライブが冷えるまでしばらくお待ちください。

●MOドライブご使用に際してのお願い

弊社製品をご愛用頂き誠にありがとうございます。

故障の原因として多い内容をお知らせ致します。当社製品をより長く快適にご利用頂くため、以下の内容をご覧頂き、末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。

- **MOドライブは空気の汚れを嫌います**

MOドライブは光学機器ですので、レンズ等内部部品にホコリ、タバコの煙等の異物が付着した場合データの読み書きができなくなる恐れがあります。

なお、タバコの煙がレンズ等に付着しますとクリーニングキットでは取れない汚れとなる場合があります。MOドライブの周囲での喫煙はお控え下さい。日常のお手入れとしては、下記のクリーニングキットをご使用の上、お客様にて定期的なクリーニングをお願いします。

※推奨クリーニングキット

富士通コワーコ（株）「HEAD CLEANER　№0240470」

連絡先：〒160-0023　東京都　新宿区西新宿６－24－１

西新宿三井ビルディング

TEL:03-3342-5460／FAX:03-3342-5446

http://www.coworco.fujitsu.com/

弊社では上記クリーニングキットでのみ動作保証を行っております。これ以外の市販品では動作の保証は行っておらず、弊社製品に対しご使用になりますとMOドライブ内部の損傷の原因となる場合がありますので、ご注意ください。

- **衝撃を与えないでください**

MOドライブは精密機械ですので、衝撃を与えないようお願いします。

落下はもとより、ドライブを倒す、動作中に本体を動かすことなどにより内部部品が損傷する恐れがあります。

- **MOディスクをドライブへ挿入する際には**

  MOドライブはMOディスク専用のドライブです。MOディスク以外は挿入しないでください。

  また、MOディスクを挿入する際に「入らないな」と思いましたら、MOディスクの向きが違っている可能性がありますので、それ以上力を加えず、向きが正しいかご確認下さい。

  無理に挿入されますと内部部品が破損する場合があります。

- **ラベルはきちんと貼られた状態で**

  ラベルがはがれかけた状態でお使いになると、ラベルがMOドライブ内部に貼りつき、MOディスクが取り出せなくなる場合があります。ラベルはきちんと貼られた状態でお使いください。

  また、ラベルを２重３重に重ねて貼ることもMOディスクが詰まる原因となります。

- **MOディスクの取り扱いについて**

  ･MOディスクのシャッターを開けて、内部に直接ふれないでください。

  ･MOディスクのシャッター部に、ラベルを貼らないでください。

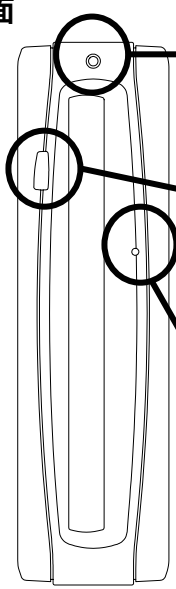
> 富士通（株）様の下記のWebサイトにもMOドライブのお取り扱いに関する情報が掲載されておりますので、ご参照ください。
>
> http://mo.fujitsu.com/support/maintain/

●本製品の修理は弊社修理係にご依頼ください。

【修理について】(P103)参照。

各部の名称・機能

● **前面**



電源ランプ

電源を入れると緑色に点灯します。

アクセスランプ、イジェクトボタン

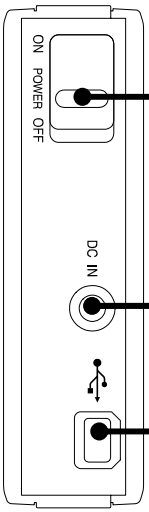
アクセス中は緑色に点灯します。
これを押すと、Mac OSでお使いの場合を除いてMOディスクが排出されます。
ただし、点灯中は絶対に押さないでください。

強制イジェクトホール

MOディスクを強制的に排出するときに使います。
通常は使用しないでください。

参考 【MOディスクが取り出せない】 (P82)

● 背面



電源スイッチ

本製品の電源をいれます。

ＤＣ端子

ＡＣアダプタを接続します。

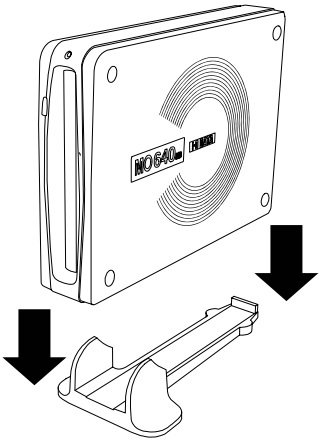
ＵＳＢ接続コネクタ

ＵＳＢケーブルを接続します。

添付品を取り付けよう

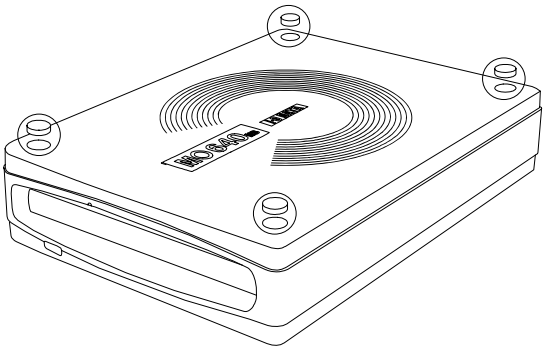
ここでは、本製品に取り付け可能な添付品（スタンド、ラバーフット）の取り付けについて説明します。

● スタンドを取り付ける（縦置きで使う）



縦置きで、ご使用になる場合は、付属のスタンドをご使用下さい。付属のスタンド以外で縦置きにしますと、不安定となり本製品の破損にもなりかねますので、付属のスタンド以外は、使用しないで下さい。

● ラバーフットを取り付ける（横置きで重ねないで使う）



横置きで、ご使用になる場合は、付属のラバーフットを取り付けてご使用下さい。ラバーフットを取り付けずに使用しますと、MOディスク挿入時に本製品が固定されません。

ラバーフットを取り付けた後は、イジェクトボタンが上になるように置いて使用してください。

MEMO

Mac OSで ご使用の場合

ここではMac OSで使用する際の設定について説明します。

ステップ1

ドライバソフトのインストール

本製品を使えるようにするドライバをインストールする手順について説明をします。(P16)

▼

ステップ2

取り付けよう

本製品をUSBポートに取り付ける手順について説明します。(P17)

▼

ステップ3

お使いの前に

お使いの前にするべき設定を説明します。(P21)

▼

ステップ4

基本操作について

本製品の基本的な操作について説明をします。(P23)

補　足1

サポートソフトの削除

サポートソフトを削除（アンインストール）する方法を説明します。(P27)

ステップ1

ドライバソフトのインストール

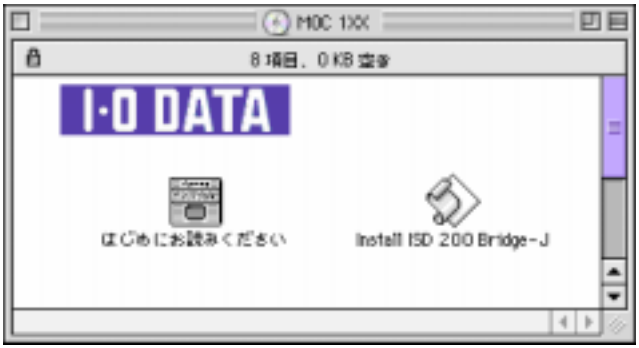
本製品を使用するには、ドライバソフトのインストールが必要です。
必ず本製品をUSBポートに接続する前に行ってください。
※インストールを行う前に、起動しているプログラムを全て終了してください。

1 「MOCシリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入し、「MOC 1XX」のアイコンをダブルクリックします。

※ XXには数字が入ります。

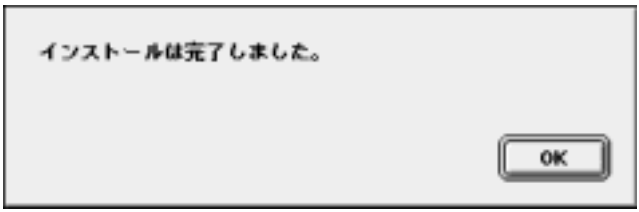
2 「Install ISD 200 Bridge-J」をダブルクリックします。

開いたウィンドウ内にある「Install ISD 200 Bridge-J」をダブルクリックします。



3 [OK] ボタンをクリックします。

⇒インストールは完了です。再起動は必要ありません。



ステップ2

取り付けよう

ここでは、本製品を取り付ける方法を説明します。

用意するもの

- MOドライブ
- 添付のUSBケーブル
- 添付のACアダプタ

取り付け手順

1 USBケーブルをMOドライブに接続します。

USBケーブルをMOドライブにまっすぐに差し込み（小さい方のコネクタ）、軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

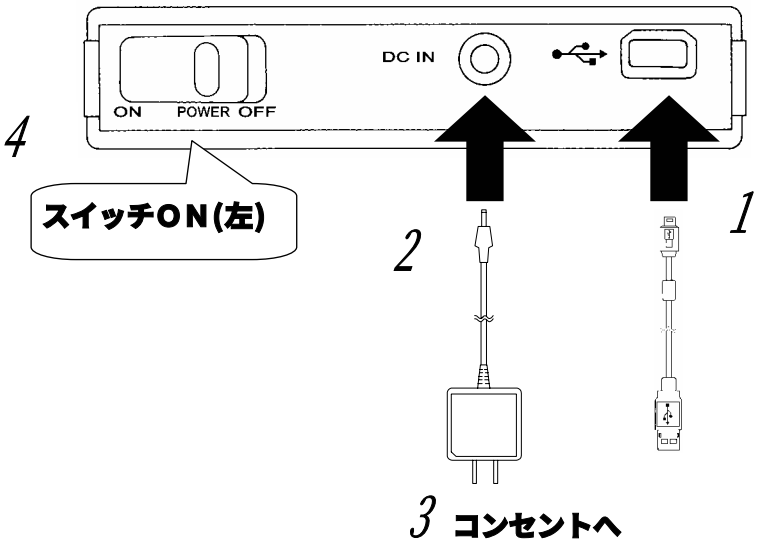
2 付属のACアダプタをMOドライブに接続します。

3 ACアダプタをコンセントに接続します。

4 MOドライブの電源をONにします。

本製品の電源を入れた後で、パソコンのUSBポートに接続してください。

本製品背面(横置きの場合)



5 USBケーブルをUSBポートに接続します。

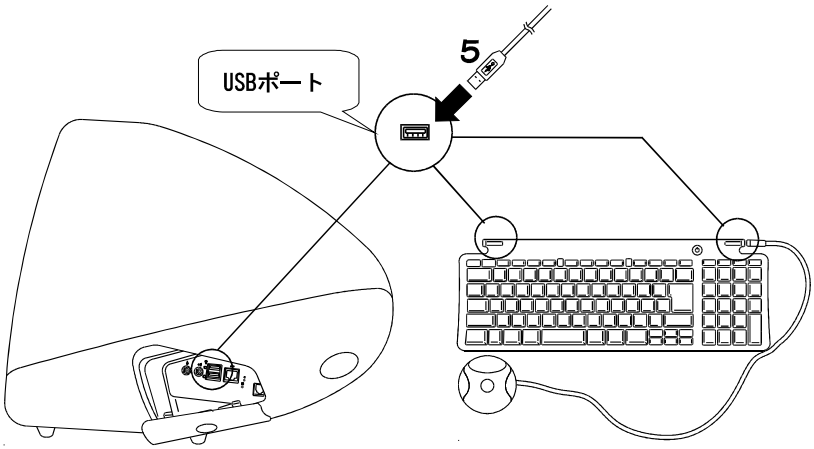
手順1で接続したUSBケーブルのもう一方を、パソコンのUSBポートにまっすぐに差し込みます。

USBポートの場所については、次ページ以降の図を参考にしてください。

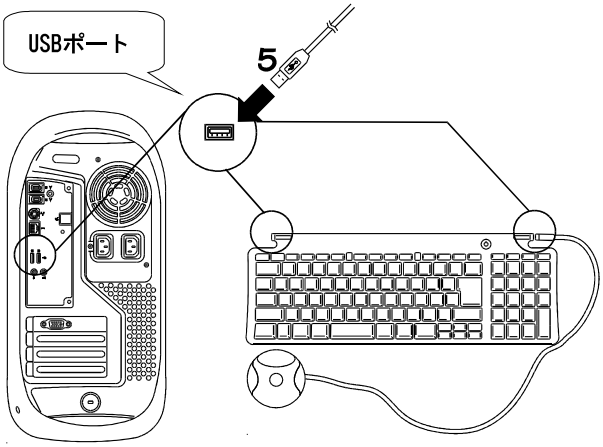
本製品の電源を投入したり、USBポートから本製品を取り外したときに、アクセスランプが点灯したままになることがありますが、異常ではありません。
Mac OSが起動し、ドライバが有効になると点灯しているアクセスランプは消えます。

【ステップ3】(P21)へお進みください。

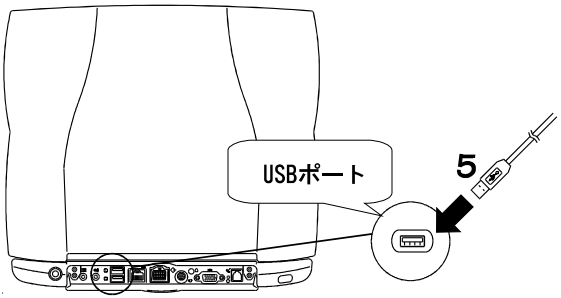
iMacに接続する場合



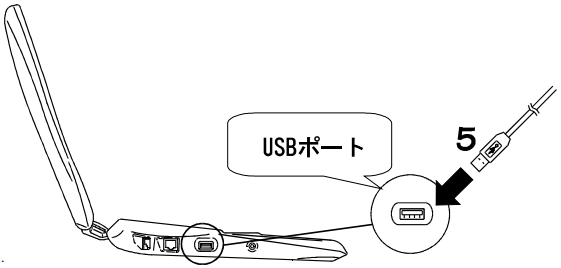
PowerMacintosh G4、およびPowerMacintosh G3(Blue and White)に接続する場合



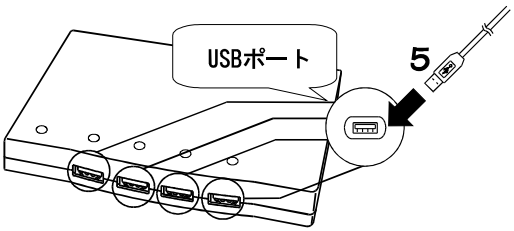
PowerBook G3シリーズ(Bronze Keyboard)に接続する場合



iBookシリーズに接続する場合



USBハブ（弊社製USB-HB4シリーズなど）に接続する場合



ステップ3

お使いの前に

ここでは、お使いの前にするべき設定を説明します。

本製品をご利用の際にはスリープしないようにしてください。
スリープにした場合、以下のような現象が起こる場合があります。

・本体の電源ランプはグリーンに戻っているが、画面に何も映らない。
・画面は映るが、戻り切らずに動かなくなる。

［自動でスリープにしない設定］

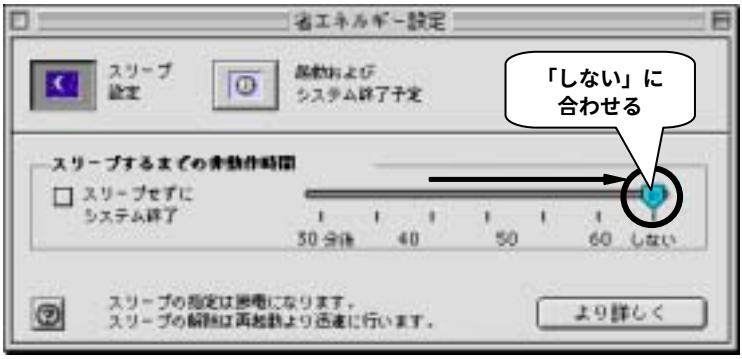
以下の設定を行い、自動でスリープにならないようにしてください。

1 ［省エネルギー設定］を開きます。

［アップルメニュー］→［コントロールパネル］→［省エネルギー設定］をクリックします。

2 「スリープするまでの非動作時間」を「しない」にします。

スリープを設定するスライダーを「しない」にします。
⇒これで、自動的にスリープすることはなくなります。



[手動でスリープにしない]

本製品をご使用の際は、以下の点にご注意ください。

- **「Finder」メニューの[特別]→[スリープ]の手順を行わない。**
  この操作によってスリープしないでください。

[スリープから戻らなくなった場合の対処方法]

スリープから戻らなくなった場合は、以下のようにしてください。

本体側の電源ボタンを５秒間押しつづけて、本体の電源が落ちることを確認してください。その後、キーボードのパワーキーから起動してください。

ステップ4

基本操作について

ここでは、本製品を使うための方法を説明します。

パソコンの電源を切る前に、MOディスクを本製品から取り出してください。

本製品をUSBポートに接続する

本製品をUSBポートに接続する方法については**【ステップ2】**(P17)をご覧ください。

PowerBook G3シリーズ(Bronze Keyboard)をお使いの場合は、パソコンが起動してから本製品をUSBポートに接続してご使用ください。本製品をUSBポートに接続した状態では、OSの起動やスリープからの復帰ができない場合があります。

本製品をUSBポートから取り外す

1 本製品よりMOディスクを取り出します。

MOディスクを取り出す方法は次ページの【MOディスクを取り出す】をご覧ください。

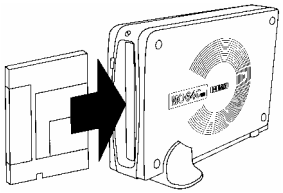
1)USBポートからUSBケーブルを抜く前に、必ずMOディスクを取り出してください。
MOディスクを取り出していない場合、システムが不安定になったり、MOディスクのデータが壊れてしまう場合があります。
2)MOディスク内にあるファイルをアプリケーションなどで開いている場合は、全て閉じてください。

2 USBケーブルをUSBポートから抜きます。

本製品を使用中（データアクセス中など）にUSBケーブル、ACアダプタは絶対に外さないでください。

MOディスクを挿入する

1 **MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに入れ、カチッと音がするまで押し込みます。**



2 **アクセスランプが点灯後、消えることを確認します。**

MOディスクを取り出す

> Mac OSでは、イジェクトボタンを押してもMOディスクは取り出せません。

1 **本製品のアクセスランプが消えていることを確認します。**

2 **MOディスクのアイコンをごみ箱に捨てます。**

⇒自動的にMOディスクが出てきます。

MOディスクを取り出せない → **【MOディスクが取り出せない】(P82)をご覧ください。**

MOディスクを初期化する

1)ここでは、Mac OSのみでMOディスクを使用する場合の初期化について説明しています。Windows Me/98マシンとのデータ交換のための初期化（フォーマット）方法については【Mac OSとWindows Me/98で共通のMOディスクを使おう】(P96)をご覧ください。
2)MOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合、そのMOディスクをそれ以上使わないでください。
ただしSCSI MOドライブをお持ちの場合は、そちらで不良セクタのあるMOディスクを物理フォーマットすることにより再び使うことができる場合があります。
3)B'sCrew等のフォーマッタソフトは、SCSIまたはATAPI（SCSIエミュレーション）の機器に対してのみ有効です。USB機器である本製品では使用できません。（ただし、フォーマッタソフトで初期化されたMOディスクは問題無くご使用いただけます）

1 本製品にMOディスクを挿入します。

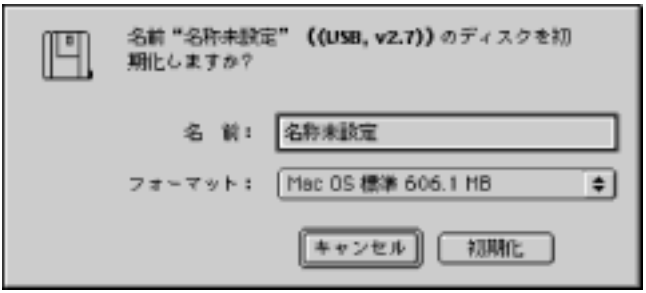
いきなり初期化の画面になることがあります。
その場合は手順２を飛ばして手順３にお進みください。

2 ［ディスク(装置)の初期化］をクリックします。

Finderメニューの［特別］をクリックし、表示された［ディスク（装置）の初期化］をクリックします。

3 初期化を行います。

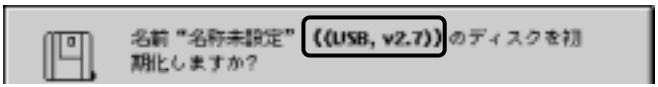
フォーマットにはMac OS標準を選ぶことをお勧めします。



1)DOS形式を選択して初期化することはお奨めいたしません。
DOS形式でフォーマットしたい場合は、Windowsマシンで行ってください。
Mac OS上でDOS形式を選択し初期化した場合、DOS(FDISK)フォーマットになります。

2)FDISKフォーマットの場合は、DOS形式フォーマットのみ選択可能です。
FDISKフォーマットのMOディスクの場合、Mac OS上およびWindows Me/98のどちらで初期化（フォーマット）してもFDISKフォーマットとなります。

3)初期化などの際に「名前」の他にドライバ名とバージョンなどが入ることがありますが、問題ありません。



4)本製品で初期化したMOディスクは、漢字TalkおよびMac OS上で有効な他のMOドライブでもお使いいただけます。ただし、本製品で初期化したMOディスクからはOSを起動できません。

初期化できない → **【困った時には】内の【MOディスクを初期化できない】(P86)をご覧ください。**

補　足1　サポートソフトの削除

本製品を使わなくなったり、本製品を再びインストールする場合は、インストールされた情報を削除（アンインストール）する必要があります。

1 **本製品をUSBポートから取り外します。**
［本製品をUSBポートから取り外す］(P23参照)

2 **［システムフォルダ］アイコンをダブルクリックします。**

3 **［機能拡張］アイコンをダブルクリックします。**

4 **［ISD 200 BOT Bridge］を削除します。**
［ISD 200 BOT Bridge］をゴミ箱に捨てます。

5 **パソコンを再起動し、「ゴミ箱を空に」します。**

これでUSBドライバの削除は完了です。

MEMO

Windows Me/98でご使用の場合

ここではWindows Me/98で使用する際の設定について説明します。

ステップ1

インストール前の確認

本製品をインストールする前の確認作業について説明します。(P30)

▼

ステップ2

インストール

本製品を使えるようにする手順について説明をします。(P31)

▼

ステップ3

基本操作について

本製品の基本的な操作について説明をします。(P41)

補　足1

サポートソフトの削除

サポートソフトを削除（アンインストール）する方法を説明します。(P47)

ステップ1 インストール前の確認

ここではインストール前の確認作業について説明しています。

すでに弊社製ドライブをお使いの方は

すでに弊社製MOドライブ(MOP-230を除く)をお使いの場合は、サポートソフト（MOFシリーズ･MOF/MOAシリーズ･MOシリーズ）を削除してください。
サポートソフトを削除しても、本製品のサポートソフトのインストールが終われば、問題なくお使いいただけます。
MOドライブの情報の削除方法については、各取扱説明書をご覧ください。

CD-ROMドライブの確認

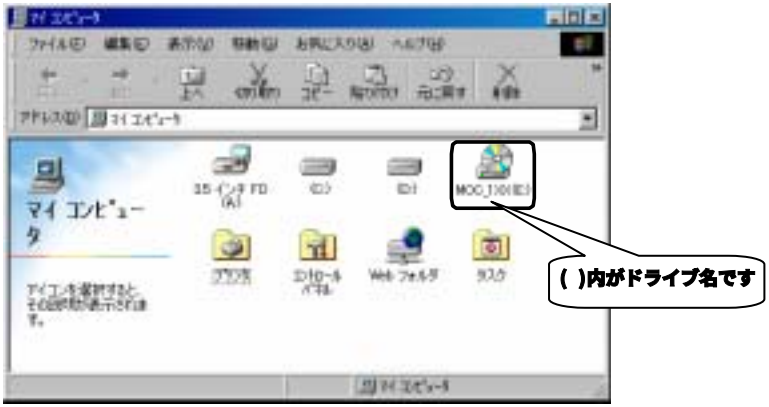
本製品をインストールする際には、使用するCD-ROMドライブを特定する必要があります。

1 **［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。**

2 **「MOCシリーズサポートソフト」CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。**

3 **「MOC_1XX」と表示されることを確認します。**

XXには数字が入ります。このアイコンのドライブ名を確認します。



ステップ2

インストール

用意するもの
- MOドライブ
- 添付のUSBケーブル
- 添付のACアダプタ
- 添付の「MOCシリーズサポートソフト」

必ず本製品をUSBポートに接続する前に下記インストール手順を行って下さい。

1 **Windows Me/98を起動します。**

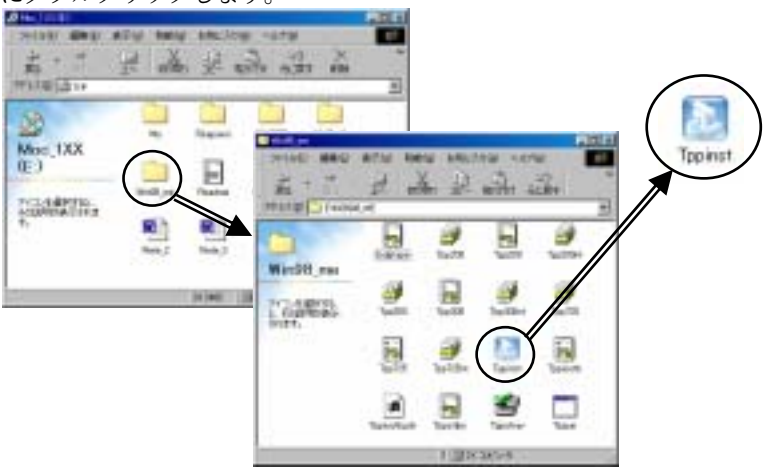
本製品を認識させる

ここでは本製品をWindows Me/98上で認識させるために、ドライバをインストールします。

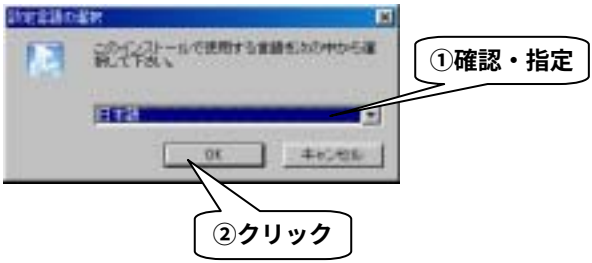
2 **「MOCシリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。**

3 **［Tppinst］を実行します。**

［マイコンピュータ］→［MOC_1XX］→［Win98_me］→［Tppinst］の順にダブルクリックします。



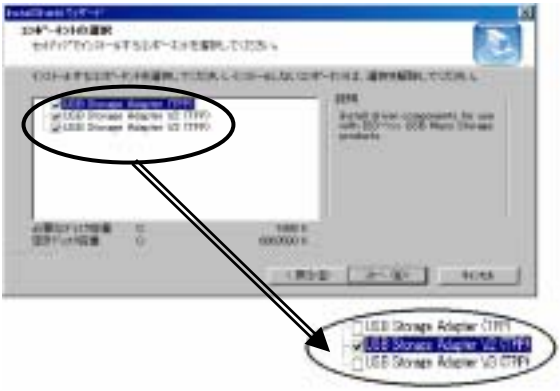
4 ［OK］をクリックします。［日本語］が表示されていない場合は、選択してください。



5 ［次へ］ボタンをクリックします。

6 ［カスタム］を選択して［次へ］をクリックしてください。

7 「USB Storage Adapter V2（TPP）」以外のチェックをはずし［次へ］をクリックします。



8 インストールが完了します。

本製品を使えるようにする

ここでは本製品をWindows Me/98上でMOドライブとして使うために、ドライバをインストールします。

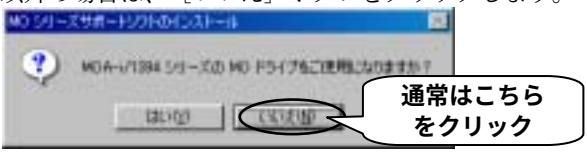
9 「Setup」を実行します。

［マイコンピュータ］→［Moc_1XX］→［Mo］→［Setup］の順にダブルクリックします。

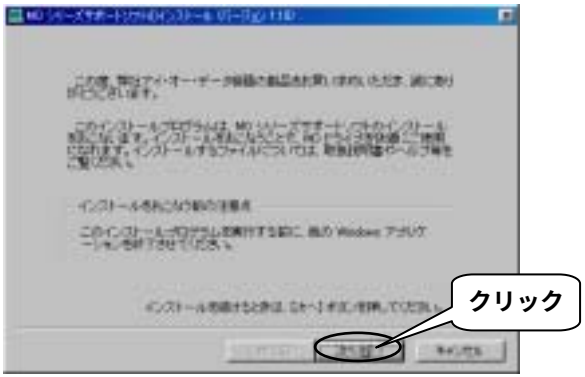
10 Windows Me/98 SEをお使いの場合、下の画面が表示されます。

すでに弊社製「MOA-i/1394シリーズ」をお使いの場合は、［はい］ボタンをクリックします。

それ以外の場合は、［いいえ］ボタンをクリックします。

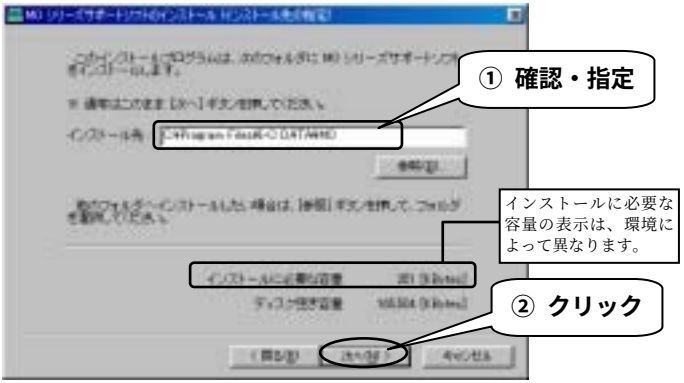


11 ［次へ］ボタンをクリックします。



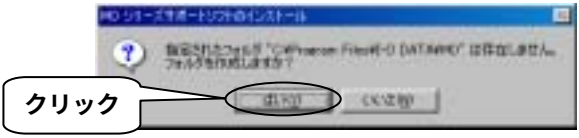
12 インストールするフォルダ名を指定します。

変更しない場合はそのまま[次へ]ボタンをクリックします。

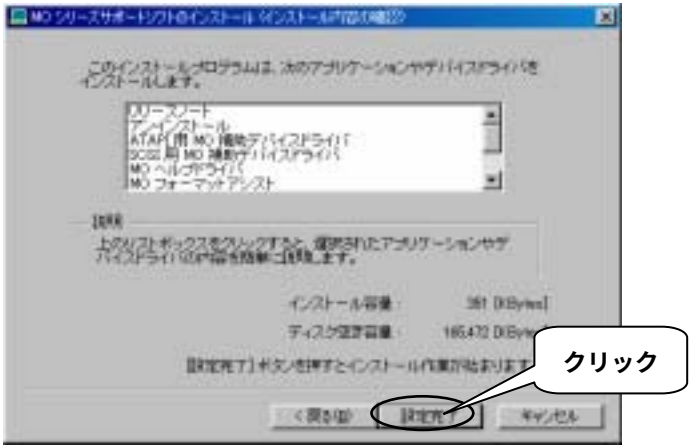


13 手順12 で指定したフォルダがない場合は作成します。

[はい]ボタンをクリックします。



14 ［設定完了］ボタンをクリックします。



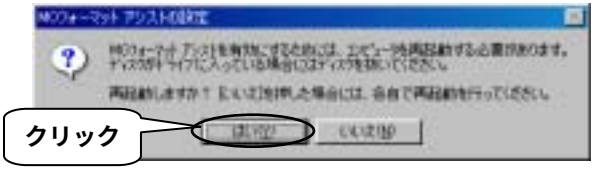
上のリスト内のインストールされる項目を選択すると、下の説明ボックス内に選択した項目の説明が表示されます。

15 ［完了］ボタンをクリックします。

16 「MOCシリーズサポートソフト」CD-ROMを取り出します。

17 ［はい］ボタンをクリックします。

⇒パソコンを再起動します。



取り付け手順

ここではMOドライブとUSBケーブルの接続およびパソコン（USBポート）への接続について説明します。

18 USBケーブルをMOドライブに接続します。

USBケーブルをMOドライブにまっすぐに差し込み（小さい方のコネクタ）、軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

19 ACアダプタをMOドライブに接続します。

20 ACアダプタをコンセントに接続します。

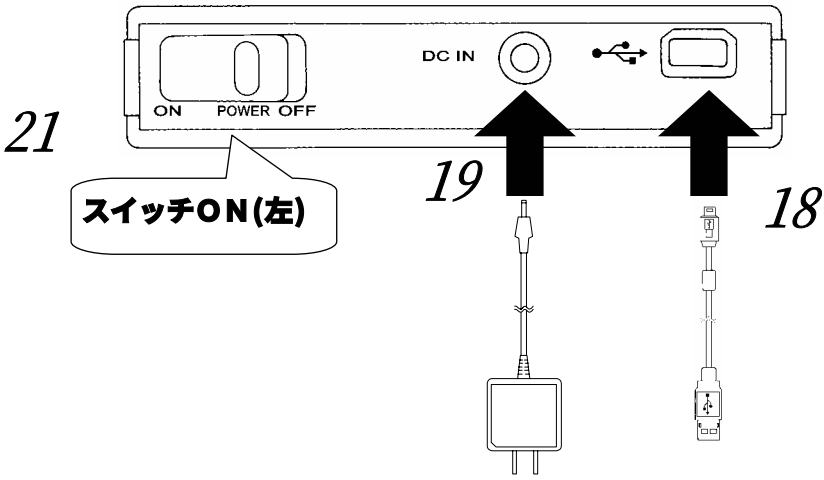
21 MOドライブの電源を入れます。

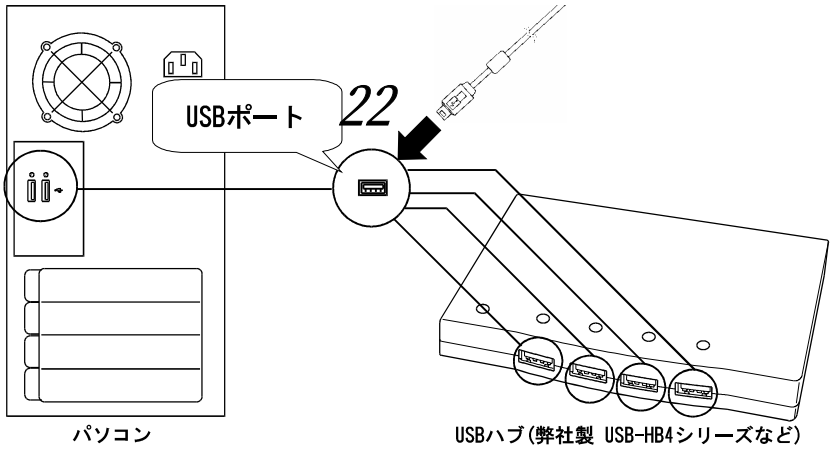
MOドライブの電源を入れた後で、USBポートに接続してください。

22 本製品をUSBポートに接続します。

手順18で接続したUSBケーブルのもう一方を、パソコンのUSBポートにまっすぐに差し込みます。

本製品背面(横置きの場合)





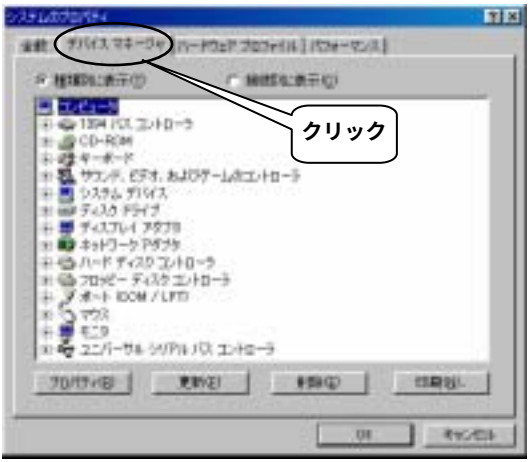
今までの設定の確認①

ここでは本製品のドライバが正しくインストールされているかどうか確認します。

23 「システムのプロパティ」を開きます。

［マイコンピュータ］を右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

24 ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

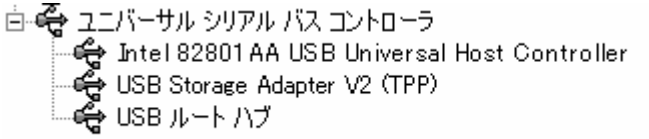


25 ［種類別に表示］をクリックします。

26 ［USB Storage Adapter V2 (TPP)］を確認します。

①［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］をダブルクリックします。

②その下の［USB Storage Adapter V2 (TPP)］を確認します。

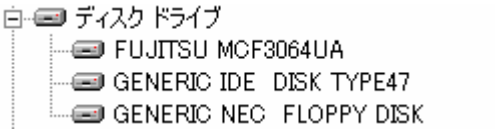


［USB StorageAdapter V2 (TPP)］に［!］が付いている → **【本製品をUSBポートに接続しても認識しない】（P79）をご覧下さい。**

27 本製品を確認します。

①［ディスクドライブ］をダブルクリックします。

②その下の［FUJITSU MCF3064UA］を確認します。

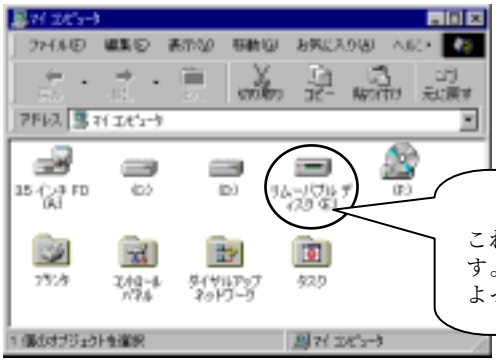


［FUJITSU MCF3064UA］がない → **【本製品をUSBポートに接続しても認識しない】（P79）をご覧下さい。**

今までの設定の確認②

28 ［リムーバブルディスク］アイコンを確認します。

［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、確認します。



［リムーバブルディスク］アイコンがない

【本製品をUSBポートに接続しても認識しない】（P79）をご覧下さい。

29 右クリックメニュー内の「MOフォーマット」を確認します。

［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックして、表示されるメニューの中に「MOフォーマット」が表示されることを確認します。

［MOフォーマット］が表示されない

【MOフォーマットが表示されない】（P89）をご覧下さい。

以上でインストールは終了です。

ステップ3

基本操作について

ここでは、本製品を使うための方法を説明します。

Windows Me/98を起動／終了する前に、MOディスクを取り出してください。

本製品をUSBポートに接続する

本製品をUSBポートに接続する方法については【取り付け手順】(P36)をご覧ください。

本製品の電源を入れた後で、本製品をパソコンに接続してください。

本製品をUSBポートから取り外す

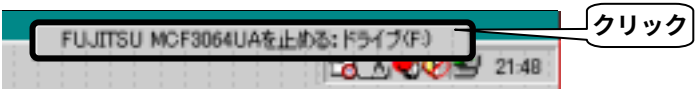
1 本製品よりMOディスクを取り出します。

MOディスクを取り出す方法は【MOディスクを取り出す】(P43)をご覧ください。

USBポートからUSBケーブルを抜く前に、MOディスクを取り出してください。

2 タスクトレイ内の［取り出し］アイコンをクリックします。

3 表示された「FUJITSU MCF3064UAを‥‥」をクリックします。



ドライブ文字（ドライブ番号）が本製品のものかどうか確認してください。

4 ［OK］ボタンをクリックします。

5 USBケーブルをUSBポートから抜きます。

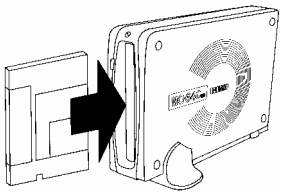
・本製品を使用中（データアクセス中など）にUSBケーブル、ACアダプタは絶対に外さないでください。

6 本製品の電源を切ります。

MOディスクを挿入する

1 MOディスクを挿入します。

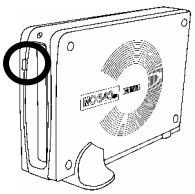
MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに入れ、カチッと音がするまで押し込みます。



2 アクセスランプが点灯後、消えることを確認します。

MOディスクを取り出す

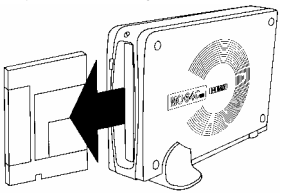
1 本製品のアクセスランプが消えていることを確認します。



2 Windows上で［取り出し］をクリックします。

本製品のアイコンを右クリックし、表示された［取り出し］をクリックします。

⇒自動的にMOディスクが出てきます。



MOディスクを取り出せない

【困った時には】内の【MOディスクが取り出せない】(P82)をご覧ください。

MOディスクをフォーマットする

1)ここでは、Windows Me/98のみでMOディスクを使用する場合のフォーマットについて説明しています。Mac OSとデータ交換するためのフォーマットについては【Mac OSとWindows Me/98で共通のMOディスクを使おう】(P96)をご覧ください。
2)使用しているMOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合、そのMOディスクをそれ以上使わないでください。
ただしSCSI MOドライブをお持ちの場合は、そちらでそのMOディスクを物理フォーマットすることにより再び使うことができる場合があります。
3)本製品でフォーマットしたMOディスクは、Windowsに認識されている他のMOドライブでもお使いいただけます。

フォーマット方法1

1 MOディスクを本製品に挿入します。

アクセスランプが一度点灯して、消えることを確認してください。

2 「マイコンピュータ」内の［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックし、表示された「MOフォーマット」をクリックします。

右クリックメニューの「MOフォーマット」をクリックします。

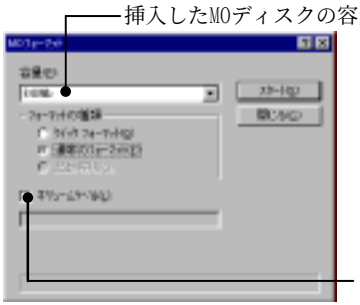
※「MOフォーマット」と「フォーマット」が同時に表示される場合がありますが、問題ありません。

［MOフォーマット］が表示されない

【MOフォーマットが表示されない】（P89）をご覧下さい。

3 フォーマットの種類※を選び、[開始]ボタンを押します。

MOディスクに保存されているファイルは、すべて消去されます。



※**・クイックフォーマット（通常のフォーマットより早い）**

一度フォーマットしたことのあるMOディスクに行えます。
MOディスクが損傷している可能性がある場合は、この種類では
フォーマットを行わないでください。

・通常のフォーマット

購入直後のMOディスクなどをフォーマットする時に使います。

・起動専用

選択しないでください。
本製品（挿入したMOディスク）から起動することはできません。

4 フォーマット後、［閉じる］をクリックします。

フォーマットが終了すると、フォーマット結果が表示されます。
確認後、［閉じる］をクリックしてください。

5 ［閉じる］ボタンを押します。

以上でフォーマットは完了です。

**フォーマット後のMOディスクは一度「スキャンディスク」をかけることを
お勧めします。**

フォーマット方法２

MOディスクのフォーマットは『エクスプローラ』でも行うことができます。

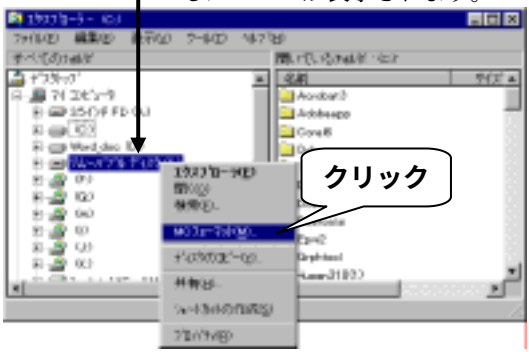
1 『エクスプローラ』を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［エクスプローラ］の順にクリックします。

2 右クリックメニューの［MOフォーマット］をクリックします。

以後は、《フォーマット方法１》の手順*3* 以降と同様です。

ここを右クリックすると、『マイコンピュータ』と同じメニューが表示されます。



1)『エクスプローラ』で、MOディスクの内容を表示中はフォーマットできません。他のドライブの内容を表示させて、『リムーバブルディスク』を右クリックしてください。

2)フォーマット後のMOディスクは一度「スキャンディスク」をかけることをお勧めします。

補　足1　サポートソフトの削除

本製品を再びインストールする場合は、インストールされた情報を削除（アンインストール）する必要があります。

USBドライバを削除する

1 本製品を取り外します。

2 ［コントロールパネル］を開きます。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］の順にクリックします。

3 ［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

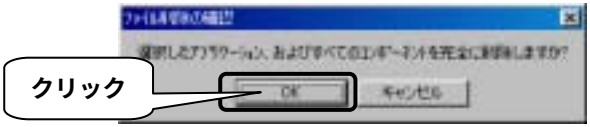
［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

4 ［TPP Storage Class Driver］をダブルクリックします。

5　**［日本語］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。**

6　**［OK］ボタンをクリックします。**

⇒USBドライバの削除が始まります。



7　**［完了］ボタンをクリックします。**

⇒パソコンが再起動されます。

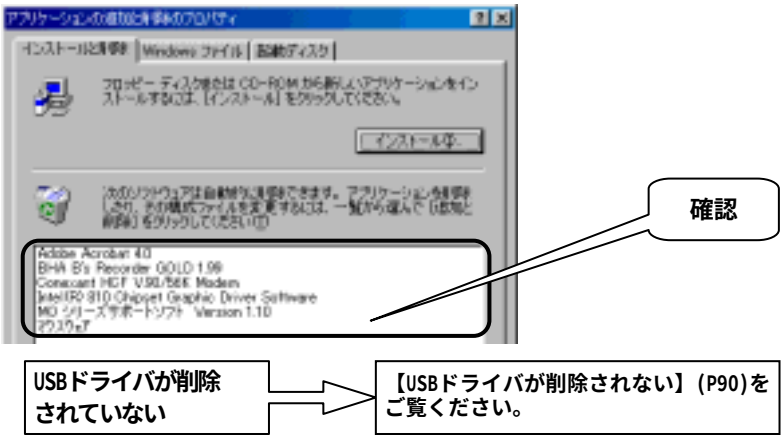
8 ［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

再起動後に、［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

9 USBドライバが削除されたことを確認します。

［TPP Storage Driver］と［USB Storage Adapter V2(TPP)］が削除されていることを確認します。

USBドライバが削除されていれば完了です。



MOドライブの情報を削除する

1 本製品を取り外します。

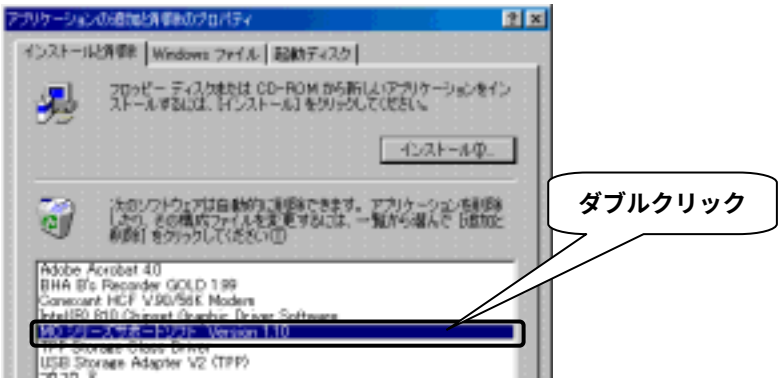
2 ［コントロールパネル］を開きます。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］の順にクリックします。

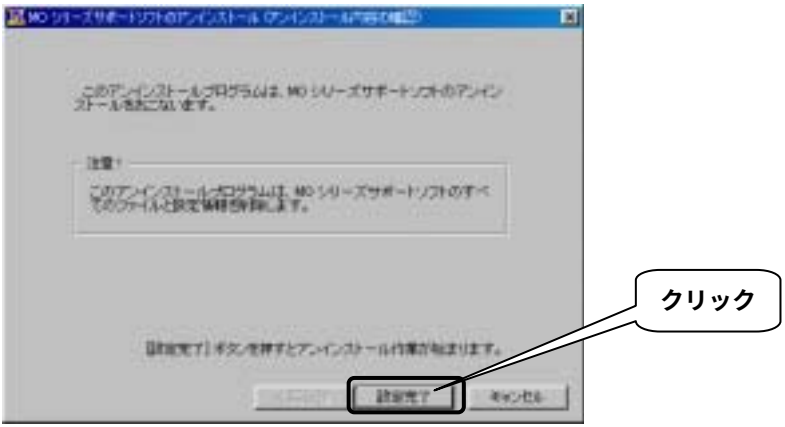
3 ［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

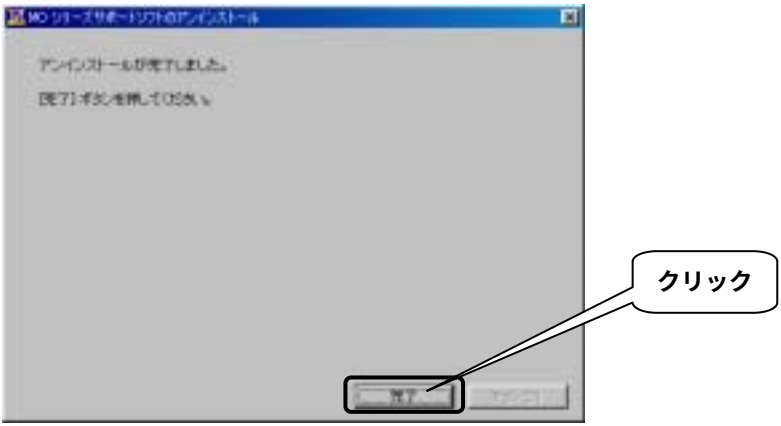
4　**[MOシリーズサポートソフト] をダブルクリックします。**



5　**[設定完了] ボタンをクリックします。**



6　［完了］ボタンをクリックします。



7　［はい］ボタンをクリックします。

⇒パソコンが再起動されます。MOドライブの情報は削除されました。

MEMO

Windows 2000でご使用の場合

ここではWindows 2000で使用する際の設定について説明します。

ステップ1 **インストール前の確認**

本製品をインストールする前の確認作業について説明します。(P54)

▼

ステップ2 **インストール**

本製品を使えるようにする手順について説明します。(P55)

▼

ステップ3 **基本操作について**

本製品の基本的な操作について説明します。(P65)

▼

ステップ4 **ユーティリティを使おう**

インストールしたユーティリティを使う方法について説明します。(P68)

補　足1 **サポートソフトの削除**

サポートソフトを削除（アンインストール）する方法を説明します。(P72)

ステップ1 インストール前の確認

ここではインストール前の確認作業について説明しています。

Windows 2000にアップグレードする場合

Windows Me/98からWindows 2000へアップグレードしてお使いになる場合は、アップグレードをする前にMOドライブの情報を削除してください。詳細は、【サポートソフトの削除】(P72)をご覧ください。

MOディスクを使う前に

Windows 2000でMOドライブをご利用になる場合は、ユーティリティソフトをインストールしてからご使用ください。

また、MOディスクのフォーマットは、「MOディスクフォーマッタ」をお使いになり、MOドライブのアイコンを右クリックしての「フォーマット」は行わないでください。

CD-ROMドライブの確認

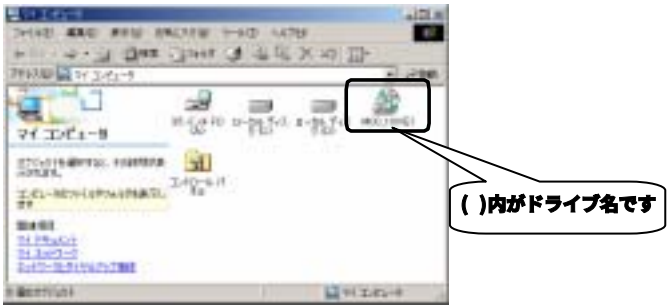
本製品をインストールする際には、使用するCD-ROMドライブを特定する必要があります。

1 **［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。**

2 **「MOCシリーズサポートソフト」CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。**

3 **「MOC_1XX」と表示されることを確認します。**

XXには数字が入ります。このアイコンのドライブ名を確認します。



ステップ2

インストール

用意するもの
- MOドライブ
- 添付のUSBケーブル
- 添付のACアダプタ
- 添付の「MOCシリーズサポートソフト」

必ず本製品をUSBポートに接続する前に、下記インストール手順を行って下さい。

1 **Windows 2000にAdministrator権限でログインします。**

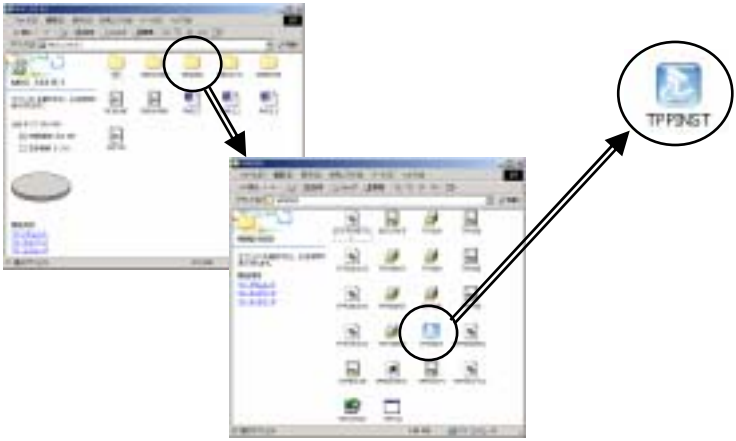
本製品を認識させる

ここでは本製品をWindows 2000上で認識させるために、ドライバをインストールします。

2 **「MOCシリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。**

3 **［Tppinst］を実行します。**

［マイコンピュータ］→［MOC_1XX］→［Win2000］→［Tppinst］の順にダブルクリックします。

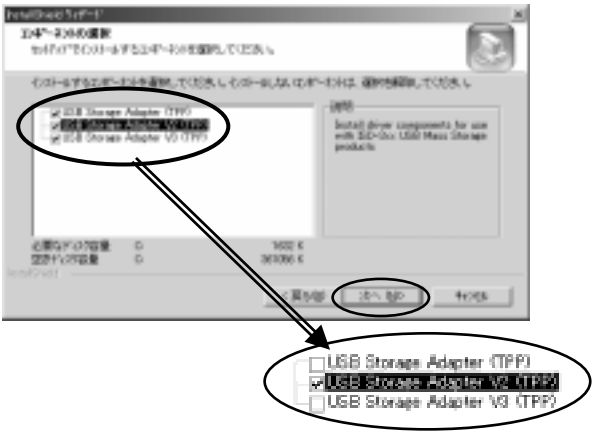


4 ［OK］をクリックします。［日本語］が表示されていない場合は、選択してください。

5 ［次へ］ボタンをクリックします。

6 ［カスタム］を選択して［次へ］をクリックしてください。

7 「USB Storage Adapter V2（TPP）」以外のチェックをはずし［次へ］をクリックします。



8 インストールが完了します。

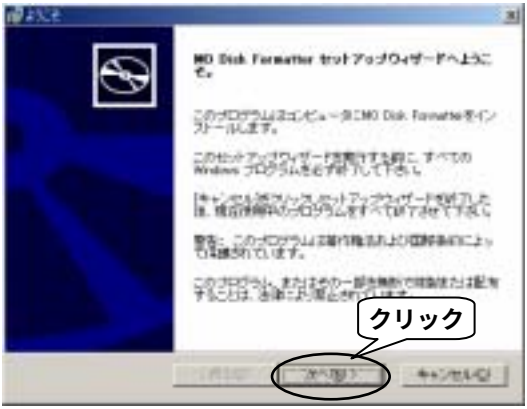
ユーティリティをインストールする

ここでは本製品でMOディスクを使うために、ユーティリティをインストールします。

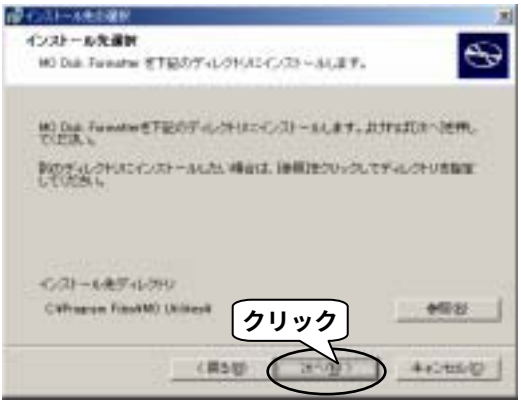
9 「MOFORMAT」を実行します。

［マイコンピュータ］→［MOC_1xx］→［WIN2KUTL］→［MOFORMAT］の順にダブルクリックします。

10 **［次へ］ボタンをクリックします。**



11 **［次へ］ボタンをクリックします。**

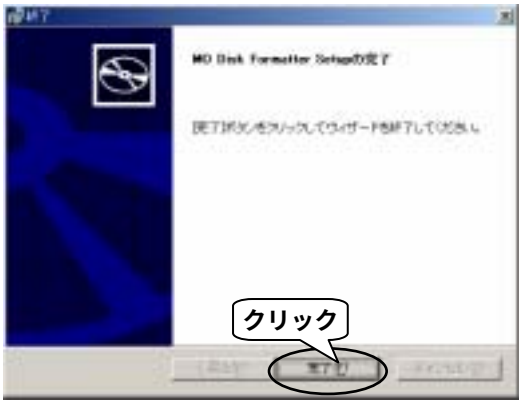


ここではインストール先のフォルダの設定を変更することができます。
設定を変更したい場合は、［参照］ボタンをクリックして変更してください。
通常は変更する必要はありません。

12 ［インストール］ボタンをクリックします。

⇒README.TXTが開かれますので、お読みください。

13 ［完了］ボタンをクリックします。



14 再起動します。

「MOCシリーズサポートソフト」を取り出し、［はい］ボタンをクリックします。

以上でインストールは終了です。

取り付け手順

ここではMOドライブとUSBケーブルの接続およびパソコン（USBポート）への接続について説明します。

15 USBケーブルをMOドライブに接続します。

USBケーブルをMOドライブにまっすぐに差し込み（小さい方のコネクタ）、軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

16 ACアダプタをMOドライブに接続します。

17 ACアダプタをコンセントに接続します。

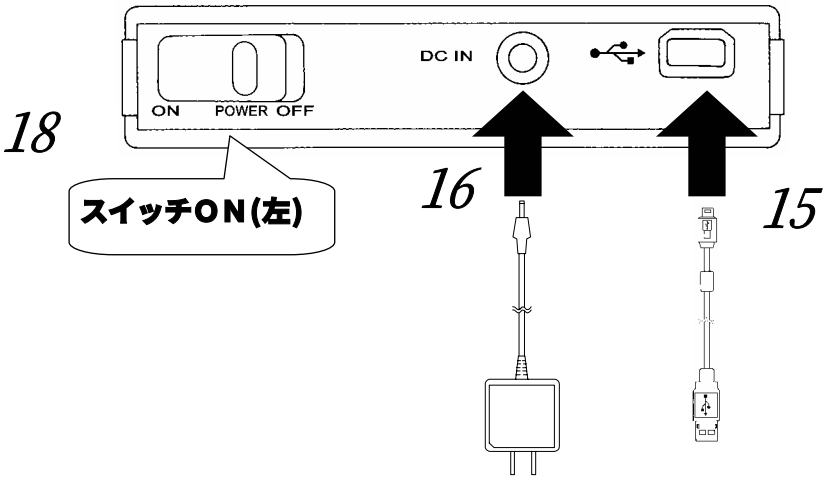
18 MOドライブの電源を入れます。

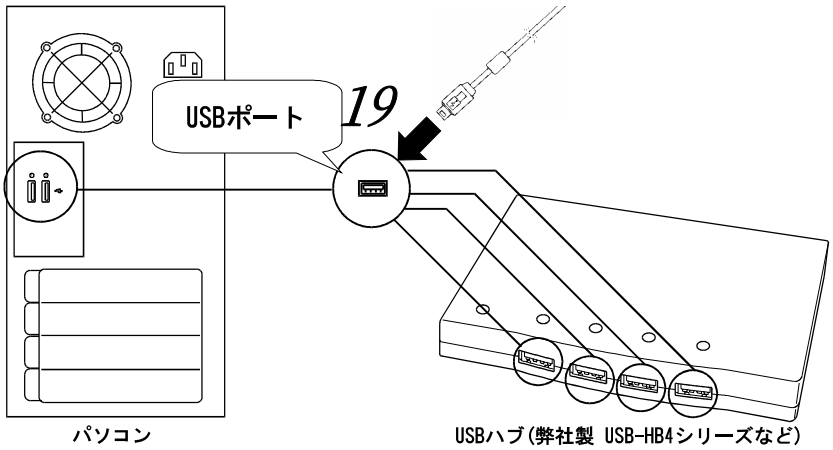
MOドライブの電源を入れた後で、USBポートに接続してください。

19 USBケーブルをUSBポートに接続します。

手順*15*で接続したUSBケーブルのもう一方を、パソコンのUSBポートにまっすぐに差し込みます。

本製品背面(横置きの場合)



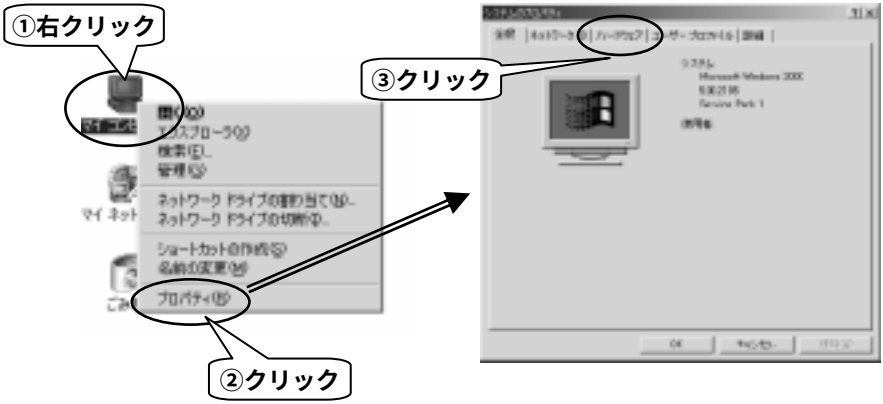


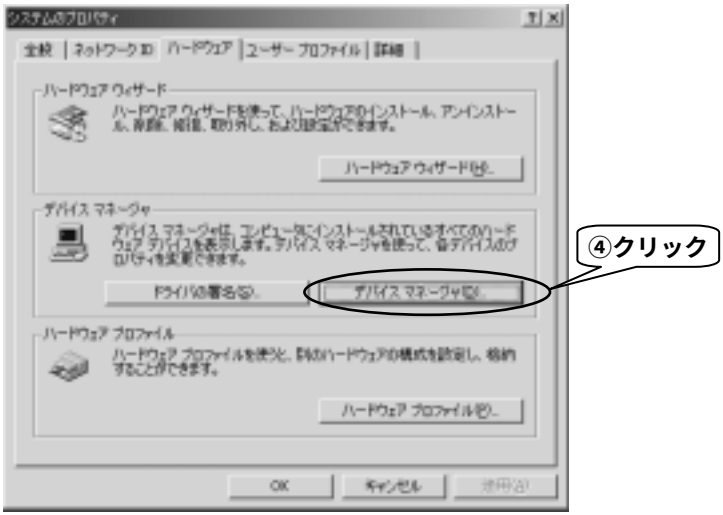
今までの設定の確認①

ここでは本製品のドライバが正しくインストールされているかどうか確認します。

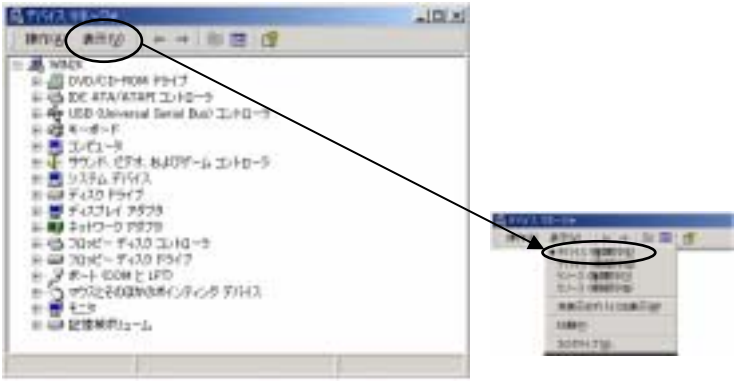
20 「システムのプロパティ」を開きます。

① ［マイコンピュータ］を右クリックします。
② 表示された［プロパティ］をクリックします。
③ ［ハードウェア］タブをクリックします。
④ ［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。





21　［表示］→［デバイス（種類別）］を選択します。



22　［USB Storage Adapter V2 (TPP)］を確認します。

①USB(Universal Serial Bus)をダブルクリックします。

②その下の［USB Storage Adapter V2 (TPP)］を確認します。

USB (Universal Serial Bus) コントローラ
Intel(R) 82801BA/BAM USB Universal Host Controller - 2442
Intel(R) 82801BA/BAM USB Universal Host Controller - 2444
USB Storage Adapter V2 (TPP)
USB ルート ハブ
USB ルート ハブ

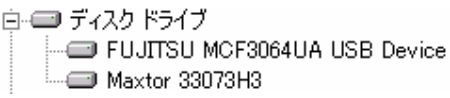
［USB StorageAdapter V2 (TPP)］に［!］が付いている

→ 【本製品をUSBポートに接続しても認識しない】(P79)をご覧ください。

23 本製品を確認します。

①［ディスクドライブ］をダブルクリックします。

②その下の［FUJITSU MCF3064UA USB Device］を確認します。



［FUJITSU MCF3064UA USB Device］がない → 【本製品をUSBポートに接続しても認識しない】(P79)をご覧ください。

今までの設定の確認②

24 ［リムーバブルディスク］アイコンを確認します。

［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、確認します。

［リムーバブルディスク］アイコンがない → 【本製品をUSBポートに接続しても認識しない】(P79)をご覧ください。

以上でインストールは終了です。

ステップ3

基本操作について

ここでは、本製品を使うための方法を説明します。

本製品をUSBポートに接続する

本製品をUSBポートに接続する方法については【取り付け手順】(P60)をご覧ください。

本製品の電源を入れた後で、本製品をパソコンに接続してください。

本製品をUSBポートから取り外す

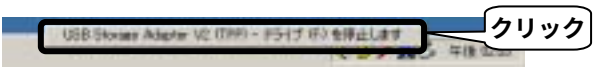
1 本製品よりMOディスクを取り出します。

MOディスクを取り出す方法は【MOディスクを取り出す】(P67)をご覧ください。

USBポートからUSBケーブルを抜く前に、MOディスクを取り出してください。

2 タスクトレイ内の［取り出し］アイコンをクリックします。

3 表示された「USB Storage Adapter ‥‥」をクリックします。



ドライブ文字（ドライブ番号）が本製品のものかどうか確認してください。

4 ［OK］ボタンをクリックします。

5 USBケーブルをUSBポートから抜きます。

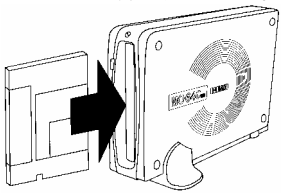
・本製品を使用中（データアクセス中など）にUSBケーブル、ACアダプタは絶対に外さないでください。

6 本製品の電源を切ります。

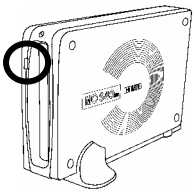
MOディスクを挿入する

1 MOディスクを挿入します。

MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに入れ、カチッと音がするまで押し込みます。



2 アクセスランプが点灯後、消えることを確認します。



MOディスクを取り出す

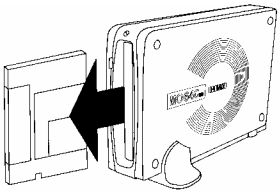
Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合は、電源を入れた本製品をUSBポートに接続した後でWindows 2000を起動してください。詳しくは【Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合、MOディスクをフォーマット／イジェクトすることができない】(P94)をご覧ください。

1 本製品のアクセスランプが消えていることを確認します。

2 Windows上で［取り出し］をクリックします。

本製品のアイコンを右クリックし、表示された［取り出し］をクリックします。

⇒自動的にMOディスクが出てきます。



MOディスクが取り出せない

【Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合、MOディスクをフォーマット／イジェクトすることができない】(P94)をご覧ください。

【MOディスクが取り出せない】(P82)をご覧ください。

ステップ4 ユーティリティを使おう

ここでは、インストールしたユーティリティを使う方法について説明しています。

インストールされたユーティリティ

インストールされたユーティリティは２つです。

MOディスクフォーマッタ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６８

MOディスクをフォーマットするためのユーティリティです。

フォーマット／イジェクト権限変更ツール・・・・・・・・・・・・・・ ７１

Windows 2000では、Administrator権限のユーザーのみがMOディスクをフォーマットできます。しかし、このツールを使えば、ユーザー権限のユーザーでもMOディスクをフォーマットできるようにすることが可能です。

「MOディスクフォーマッタ」について

「MOディスクフォーマッタ」を使えば、Windows 2000環境でMOディスクをフォーマットできます。

・最初の設定では、Administrator権限を持つユーザーのみフォーマットをすることができます。すべてのユーザーで、MOディスクをフォーマットしたい場合は、P69をご覧ください。
・「MOディスクフォーマッタ」は、Windows Me/98用の「MOフォーマット」とは異なり、アイコンを右クリックしても表示されません。次ページの手順にしたがって起動してください。
・Administrat or権限以外のユーザーでお使いの場合は、電源を入れた本製品をUSBポートに接続した後でWindows 2000を起動してください。詳しくは【Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合、MOディスクをフォーマット／イジェクトすることができない】(P94)をご覧ください。

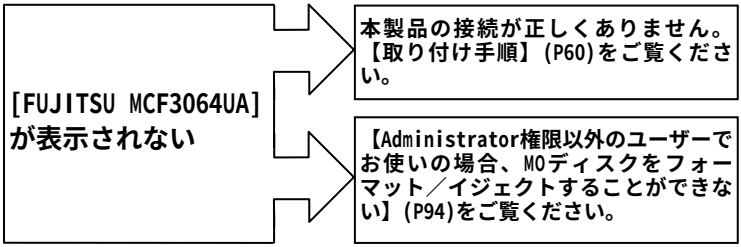
フォーマット方法

1 「MOディスクフォーマッタ」を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［MO Utilities］→［MOディスクフォーマッタ］の順にクリックします。

2 本製品にMOディスクを挿入します。

3 「FUJITSU MCF3064UA」を選びます。



4 フォーマット形式を設定します。

フォーマット形式および物理フォーマットするかどうかを設定します。

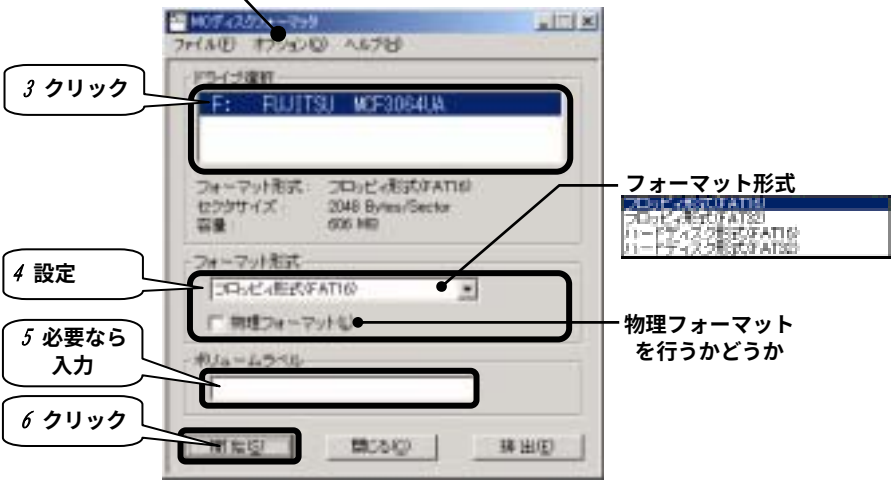
・選択できるフォーマット形式は以下のようになっています。
　-フロッピィ形式(FAT16)　　-フロッピィ形式(FAT32)
　-ハードディスク形式(FAT16)　　-ハードディスク形式(FAT32)
　通常は、「フロッピィ形式（FAT16）」でフォーマットしてください。
・（FAT32）のフォーマット形式でフォーマットしたMOディスクには、MS-DOSなどのFAT32に対応していないOSではアクセスできません。
・物理フォーマットは時間がかかるので、通常行う必要はありません。
　通常は物理フォーマットのチェックをしないでください。

5 必要ならば、ボリュームラベルを入力します。

6 ［開始］ボタンをクリックします。

（FAT32）の場合のみ

（FAT32）のフォーマット形式でフォーマットを行う場合は、［オプション］→［クラスタサイズの設定］にてクラスタサイズの設定ができます。
2KBytesほどの小さいファイルが多い場合は「2KBytes」に、4KBytes以上の大きなファイルが多い場合は「4KBytes」に設定すると効率よくMOディスクを使うことができます。



「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」について

「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」を使えば、Administrator権限を持っていないユーザーでもMOディスクをフォーマットできるようにすることが可能です。

「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」は、Administrator権限を持つユーザーのみ使用することができます。ユーザー権限のユーザーではこのツールは使用できません。

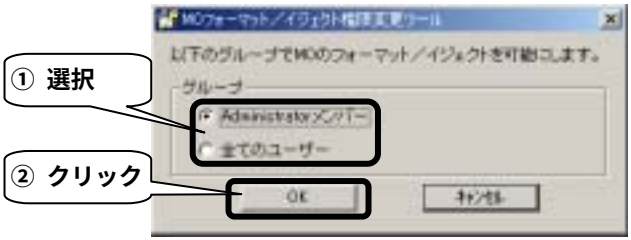
権限変更方法

1 「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［MO Utilities］→［フォーマット／イジェクト権限変更ツール］の順にクリックします。

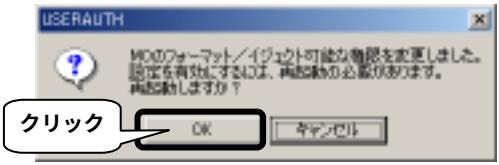
2 権限を変更します。

「グループ」でフォーマット／イジェクトの権限を変更します。
終わりましたら、［OK］ボタンをクリックします。



3 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒再起動されます。



補　足1　サポートソフトの削除

本製品を再びインストールする場合は、インストールされた情報を削除（アンインストール）する必要があります。

USBドライバを削除する

1 パソコンの電源を切り、本製品を取り外します。

2 Administrator権限を持つユーザーでログインします。

3 ［コントロールパネル］を開きます。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］の順にクリックします。

4 ［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

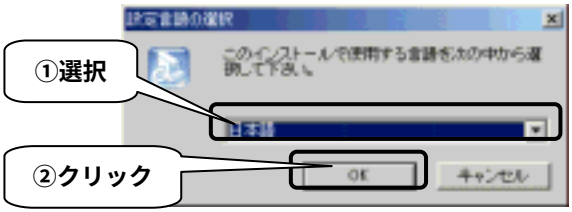
［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

5 ［TPP Storage Class Driver］を指定します。

①［TPP Storage Class Driver］を選択します。

②［変更/削除］ボタンをクリックします。

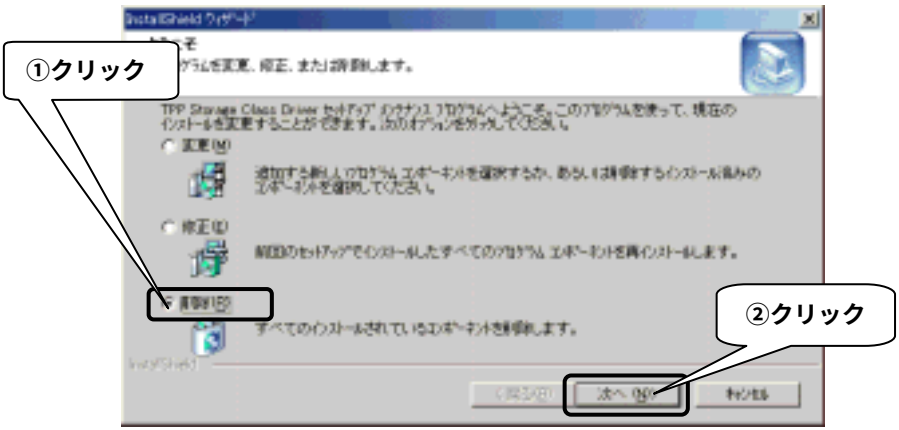
6　［日本語］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。



7　［削除］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

①［削除］を選択します。

②［次へ］ボタンをクリックします。

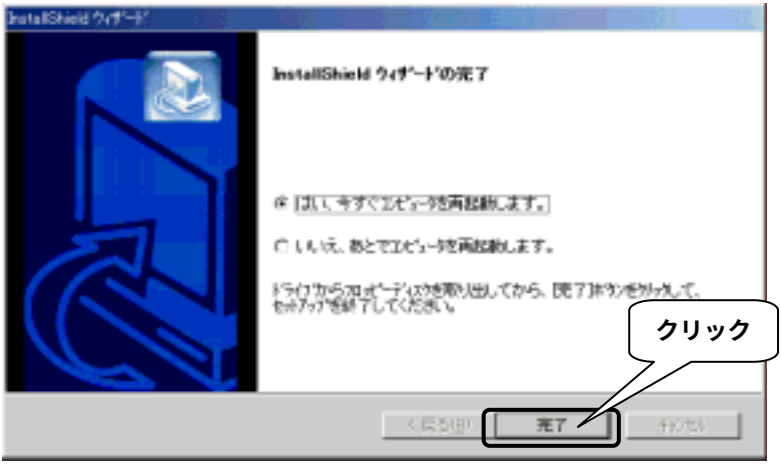


8　［OK］ボタンをクリックします。

⇒USBドライバの削除が始まります。

9　［完了］ボタンをクリックします。

⇒パソコンが再起動されます。USBドライバは削除されました。



ユーティリティを削除する

1　パソコンの電源を切り、本製品を取り外します。

2　Administrator権限を持つユーザーでログインします。

3　［コントロールパネル］を開きます。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］の順にクリックします。

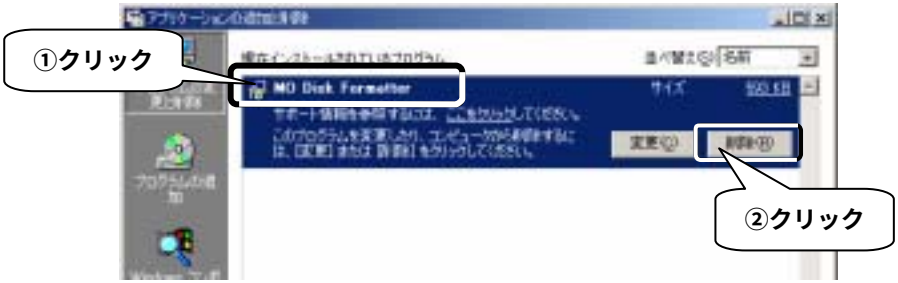
4　［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

5　［MO Disk Formatter］を指定します。

①［MO Disk Formatter］を選択します。

②［削除］ボタンをクリックします。



6　［はい］ボタンを２つクリックします。

⇒再起動されます。ユーティリティは削除されました。

MEMO

付録

困った時には
本製品を使用中に、異常があったときにご覧ください。(P78)

Mac OSとWindows Me/98で共通のMOディスクを使おう
Mac OSとWindows Me/98間でデータを移動するための方法です。(P96)

RINGOWIN LEについて
RINGOWIN LEについての説明です。(P98)

用語解説
本書内の用語を説明します。(P99)

ハードウェア仕様
本製品の仕様を説明します。(P100)

困った時には

トラブル	内容	ページ
共通	本製品をUSBポートに接続しても認識しない	79
	使用中にデータエラーが発生する	81
	フォーマットや書き込み作業中に処理が中断される	
	MOディスクにファイルの書き込みができない	
	MOディスクを読み書きしていると他のUSB機器が認識しない	
	MOディスクが取り出せない	82
	MOディスクを挿入しても反応がない	
Mac OS	正しくインストールされない	83
	「タイプエラー -110エラー」のウィンドウが表示される	84
	640MバイトのMOディスクを「検証」したらエラー報告された	85
	「USB装置 "USB to IDE Adapter" ・・・・・・」と表示される	
	データの入ったMOディスクを入れても初期化ウィンドウが出る	86
	MOディスクを初期化できない	
	本製品に挿入したMOディスクからMac OSを起動できない	
	本製品を接続したままでは、Mac OSが起動しない	87
Windows Me/98	正しくインストールされない	88
	ファイルの読み書きができない	
	十分な空き容量があるのに書き込みができない	
	「MOフォーマット」が表示されない	89
	MOディスクにスキャンディスクを実行するとエラーが出る	
	USBドライバが削除されない	90
	インストール中にエラー画面が表示される(Windows 98 SEのみ)	91
Windows 2000	正しくインストールされない	92
	NTFS形式のMOディスクを読み書きできない	93
	Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合、MOディスクをフォーマットや取り出しをすることができない	94
	「ドライブのロックに失敗しました」と表示される	
	アクセスランプが点灯していないのに下の画面が表示される	95

共通のトラブル

本製品をUSBポートに接続しても認識しない

原因１ **「更新」されていない(Windowsのみ)**

［マイコンピュータ］の［表示］→［最新の情報に更新］をクリックしてください。

原因２ **MOディスクが挿入されていない(Mac OSのみ)**

MOディスクを挿入してください。(P24参照)

原因３ **接続するUSBポートによっては認識されない**

接続するUSBポートを変えてください。特にUSBハブに接続している場合は、パソコンのUSBポートに変えてみてください。

原因４ **パソコンのUSB関連が正常ではない**

他のUSB機器を接続して認識されるか確認してください。
パソコンのUSB関連を確認する他の方法に関してはパソコンメーカーにお問い合わせください。

原因５ **他のUSB機器にバスを占有されている（弊社製USB-CCDでキャプチャしているなど）**

この場合すぐには、認識されません。他のUSB機器の占有が終わってから、本製品をUSBポートに接続してください。

原因６ **本製品の接続や電源が正常ではない**

【取り付け手順】(P17,36,60)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

原因７ **インストールが正しく行われていない**

【正しくインストールされない】(P16,31,55)をご覧ください。

原因８ **ドライブが割り当てられていない(Windows Me/98のみ)**

【ドライブ文字の予約】(P80)をご覧ください。

ドライブ文字の予約

1 **「システムのプロパティ」を開きます。**
［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 **［デバイスマネージャ］タブをクリックします。**

3 **［接続別に表示］を選択します。**

4 **「FUJITSU MCF3064UA」をダブルクリックします。**

5 **［設定］タブをクリックします。**

6 **「予約ドライブ文字」を設定します。**
［開始ドライブ］と「終了ドライブ」に、使っていない同じドライブ名を入力します。

7 **［OK］ボタンをクリックします。**

8 **［OK］ボタンをクリックします。**

9 **OSを再起動します。**

使用中にデータエラーが発生する

原因 **本製品のヘッドレンズが汚れている**

P10の「MOドライブご使用に際してのお願い」をお読みになり、本製品のクリーニングを行ってください。

フォーマットや書き込み作業中に処理が中断される

原因 **長時間の使用により高温になり、安全装置が働いた**

システムを終了してパソコン本体の電源を切り、本製品が冷えるまでしばらくお待ちください。

MOディスクにファイルの書き込みができない

原因 **MOディスクがライトプロテクトされている**

MOディスクのライトプロテクトを解除してから、ファイルを書き込んでください。ライトプロテクトについては、MOディスクの説明をご覧ください。

MOディスクを読み書きしていると他のUSB機器が認識しない

原因 **本製品がバスを占有している**

この場合すぐには、認識されません。本製品の占有が終わるまでお待ちください。

MOディスクが取り出せない

原因１ パソコン本体の電源が入っていない

パソコン本体の電源を入れた状態で、MOディスクを取り出してください。

原因２ 機械的な故障や、その他の理由で取り出せない

パソコン本体の電源を切ってから、本製品の電源を切ります。
添付の強制イジェクト･ピンを強制イジェクト･ホールに約25㎜ほど差し込むとイジェクトします。

※ これは、緊急時の操作です。
むやみにご使用になると故障の原因となります。
この操作で取り出せない場合は、無理に引き出さず、弊社修理係にご依頼ください。

MOディスクを挿入しても反応がない

原因１ 他のUSB機器にバスを占有されている（弊社製USB-CCDでキャプチャしているなど）

この場合すぐには、認識されません。他のUSB機器の占有が終わった時点でMOディスクを使用することができるようになります。

原因２ 動作がおかしくなっている

明らかに他のUSB機器の占有ではない場合、USBポートに接続しているUSBケーブルを抜き挿ししてください。

Mac OSでのトラブル

正しくインストールされない

原因 **正常に認識されていない**

下はMac OS 9.1での手順です。他のMac OSでは手順や表示が多少異なる場合があります。

1 「Apple システム・プロフィール」を開きます。

［アップルメニュー］→［Apple システム･プロフィール］をクリックします。

2 ［デバイス(装置)とボリューム］タブをクリックします。

3 本製品を確認します。

［USB x］の中に［大容量記憶デバイス(USB Storage Adapter)］があることを確認します。

［大容量記憶デバイス(USB Storage Adapter)］がない
【取り付け手順】(P17)をご覧になり、接続と電源を確認します。
それでも表示されない場合は、【サポートソフトの削除】(P27)の手順を行ってください。
その後、【ドライバソフトのインストール】(P16)の手順を行ってください。

4 MOディスクを確認します。

［USB］の中にMOディスクがあることを確認します。

MOディスクがない
本製品にMOディスクが挿入されていない場合は、【MOディスクを挿入する】(P24)をご覧になり、MOディスクを挿入します。
また、【取り付け手順】(P17)をご覧になり、接続と電源を確認します。

「タイプエラー -110エラー」のウィンドウが表示される

原因 **DOSフォーマットのMOディスクにアクセスした**

MacintoshでDOSフォーマット（スーパーフロッピー形式もしくはFDISK形式)のMOディスクにアクセスしたときにタイプ-110エラーが出る場合があります。
このエラーはファイルのデータを破壊するものではありません。
表示された場合は、再度ファイル操作をやり直してください。

640MバイトのMOディスクを「検証」したらエラー報告された

原因 **Mac OSの仕様のため**

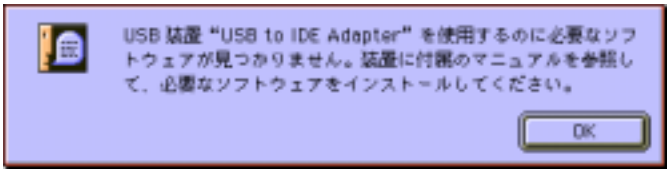
640MB MOディスク上のボリュームに対してDisk First Aidを起動し、「検証」を実行した場合、エラーレポートが報告される場合がありますが、使用上は問題ありません。

「USB装置 “USB to IDE Adapter” ・・・・・・」と表示される

原因 **ドライバがインストールされていない**

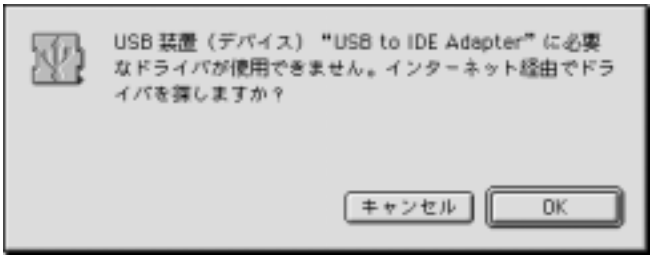
Mac OS 8.6の場合

以下のような画面が出たら、［OK］ボタンを押し、【ドライバソフトのインストール】(P16)をご覧になって、ドライバのインストールを行ってください。



Mac OS 9の場合

以下のような画面が出たら、［キャンセル］ボタンを押し、【ドライバソフトのインストール】(P16)をご覧になって、ドライバのインストールを行ってください。



データの入ったMOディスクを入れても初期化ウィンドウが出る

原因１ File Exchangeが「有効」になっていない

［Appleメニュー］→［コントロールパネル］→［機能拡張マネージャ］をクリックします。
「File Exchange」に「×」をつけて、再起動してください。

原因２ 認識できないフォーマット形式である

そのMOディスクを読み出せる環境があれば、その環境でバックアップをし、その後、MOディスクを初期化しなおしてください。

MOディスクを初期化できない

原因 AppleTalkが「使用」状態で、ファイル共有が「開始」されている

この場合は、一時的に[Appleメニュー]-[セレクタ]を開き、AppleTalkを「不使用」にするか、[アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[ファイル共有]コントロールパネルを開き、ファイル共有を「中止」にした上で初期化を行ってください。

本製品に挿入したMOディスクからMac OSを起動できない

原因 Mac OSではUSB機器からの起動はできない

本製品を接続したままでは、Mac OSが起動しない

原因　他のUSB機器を接続している

全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外した状態で、Mac OSを起動します。
Mac OSが起動したら、本製品を接続します。

Windows Me/98でのトラブル

正しくインストールされない

原因 **正しくインストールしていない**

正しくインストールされていません。
【インストール】(P31)の手順を行ってください。

ファイルの読み書きができない

原因 **MOディスクのフォーマット形式が異なっている**

1)【MOディスクをフォーマットする】(P44)の手順でフォーマットしてお使いください。（データは全てなくなります）
2)Macintoshのフォーマット形式の場合は、「RINGOWIN LE」を使ってください。
※ ただし、Mac OSで本製品を使ってフォーマットしたMOディスクは「RINGOWIN LE」では認識できません。

十分な空き容量があるのに書き込みができない

原因 **ルートフォルダに置くことの出来るファイル数を超えている**

ルートフォルダ（MOディスクの一番上）に置くことの出来るファイル（フォルダ）の数には制限があります。制限を超えると空き容量があってもエラーが表示され、書き込む事が出来なくなることがあります。
その場合は、フォルダを作成し、その中にファイルを書き込んでください。フォルダが作成できない場合は、ファイルをいくつか削除した後、フォルダの作成を行ってください。
作成されたフォルダ内ではファイル数の制限はありません。

「MOフォーマット」が表示されない

原因 **MOドライブのインストールが正しく行われていないか、設定が正しくない**

［スタート］→［プログラム］→［MOシリーズサポートソフト］があるかどうか、確認します。

無い場合は、【本製品を使えるようにする】(P33)を行います。

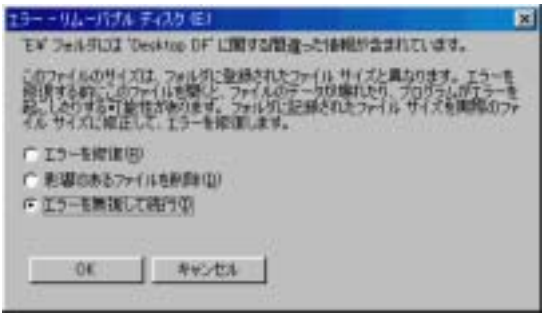
ある場合は、さらにその先の［MOフォーマットアシストの設定］をクリックし、「MOフォーマットアシストを有効」にします。

すでに「MOフォーマットアシストを有効」になっていた場合は、【サポートソフトの削除】(P47)の作業を行い、その後、もう一度【本製品を使えるようにする】(P33)を行ってください。

MOディスクにスキャンディスクを実行するとエラーが出る

原因 **そのMOディスクを一度Macintoshで使っている**

一度、Mac上にマウントしたDOSフォーマット(IBM,もしくはFDISK)のMOディスクをWindows Me/98上でスキャンディスクを実行した場合、次のようなエラーが表示される場合があります（ファイル「Desktop DF」は、MacOS上で管理に必要な情報が含まれたファイルです）。この場合は、「エラーを無視して続行」を選んでください。



USBドライバが削除されない

原因 **正しい手順以外でインストールした**

本書に記載されている手順以外でインストールをした場合、USBドライバが削除されない場合があります。
下の手順にて、削除してください。

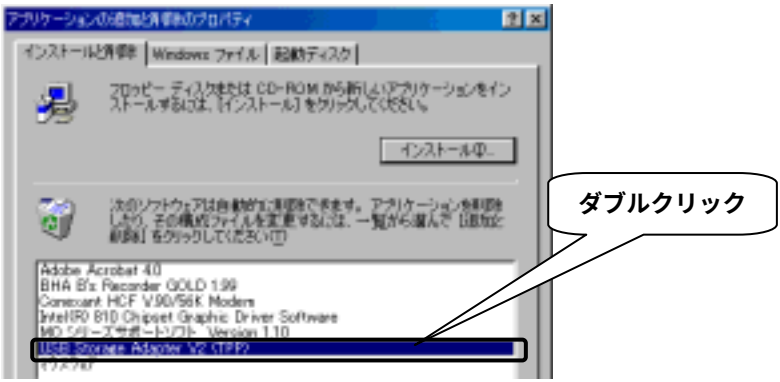
1 ［コントロールパネル］を開きます。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］の順にクリックします。

2 ［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

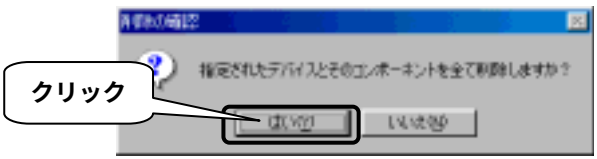
［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

3 ［USB Storage Adapter V2(TPP)］をダブルクリックします。



4 ［はい］ボタンをクリックします。

⇒USBドライバの削除が始まります。

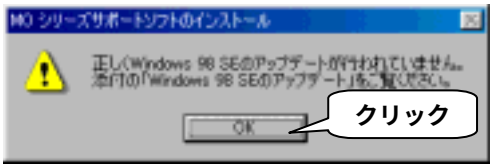


5 ［はい］ボタンをクリックします。

⇒パソコンが再起動されます。

P49の手順*8*以降をご覧になり、削除されていることをご確認ください。

インストール中にエラー画面が表示される(Windows 98 SEのみ)



原因 **MOA-i/1394シリーズを使っていない**

MOA-i/1394シリーズをすでにお使いの場合、上の画面が表示されることはありません。［OK］ボタンをクリックし、もう一度【本製品を使えるようにする】(P33)の作業を行ってください。その際、手順*10*で［いいえ］をクリックしてください。

Windows 2000でのトラブル

正しくインストールされない

原因１　正しくインストールしていない

下の手順にて、誤認識されているデバイスを削除してください。

1 **「システムのプロパティ」を開きます。**

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 **［ハードウェア］タブをクリックします。**

3 **［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。**

4 **［表示］→［デバイス(種類別)］を選択します。**

5 **USBコントローラの名前を確認します。**

［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］の下にあるUSBコントローラの名前を確認します。

USBコントローラの名前は･･･
通常、「～USB～Controller」という名前になっています。
USBコントローラに［!］が付いている
パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

6 **［表示］→［デバイス(接続別)］を選択します。**

7 **USBコントローラの名前を探します。**

手順5で確認したUSBコントローラを探します。

USBコントローラの位置は･･･
通常、USBコントローラは［PCIバス］の下にあります。
［PCIバス］は、［ACPI(Advanced Configuration and Power Interface) BIOS］または［標準PC］の下にあります。

8 **USBコントローラの下を確認します。**
USBコントローラの下にある、すべてのデバイスを書きとめます。

9 **本製品をUSBポートから取り外します。**

10 **誤認識されているデバイスを確認します。**
手順*8*で書きとめたデバイスと、現在のデバイスを見比べて、消えているデバイスを確認します。これが誤認識されているデバイスです。

11 **本製品をUSBポートに接続します。**

12 **誤認識されているデバイスを削除します。**
誤認識されているデバイスを選択し、［削除］ボタンをクリックします。

13 **本製品をUSBポートから取り外します。**

14 **パソコンを再起動します。**

15 **インストールします。**
【インストール】(P55)をご覧ください。

NTFS形式のMOディスクを読み書きできない

原因 **MOディスクがライトプロテクト状態になっている**

他のMOドライブなどで作ったNTFS形式のMOディスクをお使いになる場合は、ライトプロテクトノッチを書き込み許可にしてください。

Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合、MOディスクをフォーマットや取り出しをすることができない

原因１ 「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」で権限を「全てのユーザー」にしていない

Windows 2000は、そのままではAdministrator権限以外のユーザーにてMOディスクのフォーマットや取り出しをすることはできません。

【「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」について】(P71)をご覧になり、権限を「全てのユーザー」にしてください。

原因２ 本製品を接続したまま起動していない

MOディスクをフォーマットしたり、取り出したい場合は、必ず電源の入った本製品を、USBポートに接続した後でWindows 2000を起動してください。

また、この方法でWindows 2000を起動しても一度本製品をUSBポートから取り外し、再び接続した場合はMOディスクをフォーマットしたり取り出したりすることはできません。その際は、本製品を接続したまま、Windows 2000を再起動してください。

「ドライブのロックに失敗しました」と表示される

原因 MOディスク内のファイルを開いている

「MOディスクフォーマッタ」の作業時に、他のアプリケーションでMOディスク内のファイルを開いていたり、「エクスプローラ」でMOディスク内を開いていると、このエラーが表示されます。

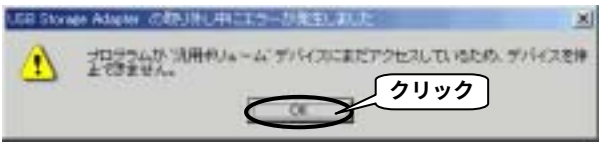
MOディスク内を開いているすべてのアプリケーションを終了し、もう一度フォーマットしてください。

アクセスランプが点灯していないのに下の画面が表示される

原因 **Windows 2000用MOユーティリティソフトで物理フォーマットしたか、フォーマット後すぐに本製品を取り外した**

本製品を取り外すとき、本製品のアクセスランプが点灯していないのに、手順*1*の画面が表示された場合は、以下の手順で取り外せます。

1 **[OK] ボタンをクリックします。**



2 **Windows 2000を再起動します。**

3 **USBポートから本製品を取り外します。**

【本製品をUSBポートから取り外す】(P65)をご覧ください。

Mac OSとWindows Me/98で共通のMOディスクを使おう

ここでは、Mac OSとWindows Me/98とでデータを交換するための方法について説明しています。

MOディスクのフォーマット

128～540MバイトのMOディスク

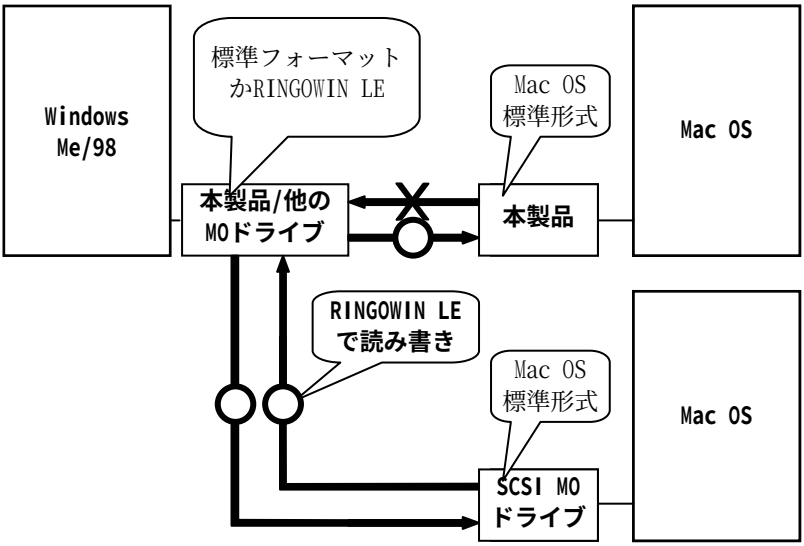
Windows Me/98でフォーマットしたMOディスク（スーパーフロッピー形式）をお使いください。

640MバイトのMOディスク

Windows Me/98上で「RINGOWIN LE」を使って、「Macintoshフォーマット」でフォーマットしたMOディスクをお使いください。

1)Windows Me/98でフォーマットした640MバイトのMOディスクは、Mac OSではご使用いただけません。
2)Mac OSで頻繁に使用するMOディスクは容量にかかわらず「RINGOWIN LE」を使ってフォーマットすることをお勧めします。
ただし、「Mac & Windows 混在フォーマット(RINGOWIN フォーマット)」ではお使いいただけません。
3)MacintoshでDOS形式の初期化を行うことはお勧めいたしません。
Windowsにてフォーマットを行ってください。
4)本製品でフォーマットしたMOディスクからはOSを起動できません。
5)Mac OS⇔Windows Me/98間のアプリケーション･データの互換性については、データを生成したアプリケーションの製作会社にお問い合わせください。

[参考] 読み書き可能なフォーマット形式、MOドライブ相関表



[参考] Mac OS上で初期化可能なフォーマット形式、相関表

		選択可能なフォーマット形式		
		Mac OS標準	Mac OS拡張	DOS
挿入したMOディスクのフォーマット形式	未フォーマット	○	○	△
	Mac OS標準	○	○	×
	Mac OS拡張	○	○	×
	スーパーフロッピー形式※	○	○	△
	FDISK形式※	×	×	△

※ File Exchangeが有効であること

記号の説明

「○」可、「△」可だが推奨しない、「×」不可

RINGOWIN LEについて

Windows側でMacintoshフォーマットの MOディスクを読み取ったり、Macintoshフォーマットの MOディスクを作成できるWindows用ソフトウェアです。
これがあれば、Windows Me/98でMacintoshのデータを受け取ったり、Windows Me/98のデータをMacintosh用に変換して、Mac OSに渡すことができます。

【RINGOWIN LEの使用方法について】

本製品に添付のCD-ROMに、「RINGOWIN LE」のプログラム本体とオンラインマニュアルが入っています。
インストール方法や使用方法の詳細は、添付のCD-ROMのルートフォルダ内にあるRINGOWIN.TXT（テキスト形式）またはRWLE_1.DOC、RWLE_2.DOC、RWLE_3.DOC（WORD形式）をご覧になるか、実行中にヘルプを参照してください。

《RINGOWIN LEのインストール方法》

RINGOWINフォルダ（ディレクトリ）内の「Setup.exe」を実行します。
詳細については、添付のCD-ROMのルートフォルダ内にあるRINGOWIN.TXT（テキスト形式）やRWLE_1.DOC、RWLE_2.DOC、RWLE_3.DOC（WORD形式）をご覧ください。

1)WORD形式のオンラインマニュアルで、画面データなどが見づらい場合は、表示倍率を上げて（拡大して）ご覧ください。
2)「RINGOWIN LE」を使ってデータ交換を行う場合は、 Windows Me/98で「RINGOWIN LE」を使ってMacフォーマットをし、そのMOディスクをお使いください。
「RINGOWIN LE」では、Mac OSで本製品を使って初期化したMOディスクは認識できません。

用語解説

USB(ユーエスビー)(Universal Serial Bus)

パソコンと周辺機器を接続する規格の１つ。パソコンと電話回線の接続性向上、接続のしやすさ、増設のしやすさなどを主な目的として1995年に公開された。

- コネクタ形状の一元化により、周辺機器のインターフェイスが統一される。
- デスクトップパソコンでもノートパソコンでも使用できる。
- Hot Plug対応でパソコン起動中でも抜き挿しできる。
- USBポートから電源供給が可能なので外部電源がいらない。
  （消費電流が低い場合）
- 複数のIRQを使用しないので、機器間の競合が少なくなる。

などの特長を持つ。

転送速度は、ハイスピードモード（12Mbps）とロースピードモード（1.5Mbps）の２種類がある。本製品はハイスピードモードで動作している。

ハードウェア仕様

●MOC-U640

インターフェイス	USB1.1対応
使用可能MOディスク	128/230※/540※/640Mバイト※ （※ オーバーライト対応ディスクを含む）
セクタサイズ	･128/230/540MバイトのMOディスクは512バイト ･640MバイトのMOディスクは2048バイト
シークタイム（平均）	23ms
MOディスク回転数	3600rpm
データ転送速度	12Mビット/sec（理論値）
バッファサイズ	２Mバイト
動作温度	+5℃～+35℃（パソコンの動作する範囲であること）
動作湿度	+20%～+80%（ただし結露なきこと）
電源	ACアダプタ　+5.0V,2.2A
本体サイズ	115(W) X 157.5(D) X 32(H) mm
ケーブル長	１m
質量	本体　約670g

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所･氏名･郵便番号･連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態（起こったタイミング、本製品や画面、メッセージなどについて)。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/support/

■郵便

住所　〒920-8513 **石川県金沢市桜田町2丁目84番地**
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンター
「MOC-U640」係　宛

■電話・FAX

電話番号	**金沢**	076-260-3688	**東京**	03-3254-1095
電話受け付け時間	9:30〜19:00	**月〜金曜日（祝祭日を除く）**		
ＦＡＸ番号	**金沢**	076-260-3360	**東京**	03-3254-9055

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/　→「サポート･ライブラリ」

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町２丁目84番地
アイ･オー･データ第２ビル
株式会社アイ･オー･データ機器 サービス窓口
「MOC-U640」　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

修理について

修理の前に

故障かな？　と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【サポートセンターへのお問い合わせ】をご覧ください）
明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。
●お客様が貼られたシールなどについて
修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。
●修理金額について
・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアル№、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先〔住所／氏名／（あれば）FAX番号〕、日中にご連絡できるお電話番号、ご使用環境（機器構成、OSなど）、故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、販売店へご依頼いただくか、下の送付先 ※までお送りくださいますようお願いいたします。

※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町２丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

・修理品の返送日については以下の窓口にお問い合わせください。

●サービス窓口

お問い合わせの際は、ご依頼の際にメモに控えた内容をお伝えください。

電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30〜12:00　13:00〜17:00
月〜金曜日（祝祭日を除く）

MOC-U640 取扱説明書
2001.Jul.17 92343-02
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

©2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。